



Survey123 の新機能



目次

Survey123 の新機能	3
--------------------------	---

Survey123 の新機能

Survey123 にはますます多くの機能が追加されています。このドキュメントでは、追加された機能の内容をリリース別に、新しいものから順に示します。

2023 年 8 月 22 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.18.145)

下記は、修正および改善された機能です。

- アプリがオフラインの場合に、update パラメーターを含む Survey123 リンクまたはカスタム URL スキーマからアプリが起動されたときに受信トレイが空になる不具合が修正されました。
- 計算された整数値をテキストの質問に入力できない不具合が修正されました。
- マップの質問の位置パネルと全画面マップの間で繰り返し切り替える際の安定性が向上しました。

Survey123 Connect (バージョン 3.18.124)

計算された整数値をテキストの質問に入力できない不具合が修正されました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- フィーチャ レイヤーまたはテーブルから設定される場合の [ドロップダウン] の質問の選択肢リストが改善され、一意の選択肢の値のみが返されるようになり、リストの設定時間が短縮されています。
- ArcGIS Online にある調査で、ファイルの質問の最大ファイル サイズが 100 MB から 500 MB に増加しました。
- iPad 上の Safari で写真を撮影するときに前面カメラと背面カメラを切り替えられない不具合が修正されました。
- mode パラメーターである edit または copy を含むリンクから調査が起動されている場合に添付ファイルを送信できない不具合が修正されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- ArcGIS Online にある調査で、[ファイルのアップロード] の質問の最大ファイル サイズを 500 MB として構成できます。
- 計算のソース レイヤーを設定するときや、[ドロップダウン] の質問の選択肢リストを設定するとき ArcGIS Living Atlas カテゴリが追加されました。

2023 年 7 月 25 日更新

この更新には、Android 上の Survey123 フィールド アプリに対する変更のみが含まれています。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.18.143)

Android 上で、画像を一部のデバイスに保存するときにカメラがクラッシュする不具合が修正されました。

2023 年 6 月 21 日更新

この更新には、Survey123 Web アプリと Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- 以前のバージョンの Survey123 で作成された調査を表示しようとする、次のメッセージが表示される不具合が修正されました: **Web フォームをアップグレードする必要がありますが、アップグレード中にエラーが発生しました。 HTTP 504: UNKNOWN_ERROR**
- 回答の送信後に [サイトから移動しますか?] というメッセージが表示されることがある不具合が修正されました。
- 調査の送信後に [自動的に URL にリダイレクト] アクションを行うよう構成されていて、別の Web ページに埋め込まれている場合に、アニメーションの読み込みが非表示にならない不具合が修正されました。
- ArcGIS Experience Builder の調査ウィジェットで、[オーディオ] の質問がオーディオを録音できない不具合が修正されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- 写真の位置の EXIF メタデータが [データ] ページのフォーム ビューに表示されない不具合が修正されました。
- [設計] ページの更新後に、計算式が壊れている質問が消えてしまう不具合が修正されました。
- 調査の送信後の [調査を自動的に再読み込みする] アクションで遅延 0 秒に構成されている場合に、回答の送信後に [サイトから移動しますか?] というメッセージが表示される不具合が修正されました。
- 1 回の印刷ジョブで複数のレポートを生成しようとする、[タイムアウトのため、パッケージ化中にエラーが発生しました] というメッセージが表示されて失敗する不具合が修正されました。

更新日: 2023 年 6 月 13 日

この更新には、Survey123 Connect、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.18.123)

下記は、修正および改善された機能です。

- **スマート アシスタント** を調査内に構成すると、機械学習モデルを使用して、画像からの属性の抽出、画像のアノテーション、画像の墨消しを実行できます。
- **距離計** を使用して位置の値と高さの値を取得するように調査を構成できます。
- 新しい barcodeType パラメーターと engine パラメーターを使用すると、バーコードの質問に対してバーコードタイプとスキャン方法を設定できます。
- 新しい mapTools パラメーターを使用すると、マップの質問の全体表示のページ ビューに表示するマップ ツー

ルを設定できます。

- **[調査の分析]** ツールで調査が一部しか処理されない不具合が修正されました。
- ピリオド (.) を含むオブジェクト プロパティを `pulldata("@json")` 関数に指定できない不具合が修正されました。
- 繰り返しに含まれている非表示の質問の計算列で `position(..)` を使用した場合に、パラメーターを含む URL から調査が読み込まれない不具合が修正されました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.18.142)

下記は、修正および改善された機能です。

- **スマート アシスタント** を使用すると、画像からの属性の抽出、画像のアノテーション、画像の墨消しを実行できます。
- ArcGIS **Location Sharing** を使用できるようになりました。
- Laser Tech TruPulse の **距離計** がサポートされるようになりました。
- Berntsen InfraMarker の RFID スキャナーがサポートされるようになりました。
- バーコード スキャンがさらに高速かつ高精度になりました。
- **[受信トレイ]** マップ タブに検索が追加されました。
- 複数のページと調査の説明を含む調査を Web デザイナーで作成した場合に、フィールド アプリで空白の先頭ページが表示されなくなりました。
- `image-map` の表示設定を含む質問で選択順序が保持されない不具合が修正されました。
- ゼロより大きい値に対して制約が設定されている場合でも `spinner` の表示設定に負の値を入力できる不具合が修正されました。
- ギャラリーまたは受信トレイを更新すると日本語のアプリが強制終了する不具合が修正されました。
- iOS 16 では、画像の質問が多数含まれている調査でカメラを起動するとアプリが強制終了する不具合が修正されました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しい `isOrgSignIn` URL パラメーターでは、組織固有のサインイン ページの代わりに ArcGIS のサインイン ページを使用できます。
- **カスケード式の選択**の一部として使用されている場合に **[ランキング]** の質問を完了できない不具合を修正しました。
- `relevant` または `body::esri:visible` 式を使用すると、`repeat_count` 式を含む繰り返し質問が想定通りに非表示にならない、または表示されない不具合を修正しました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しい **スライダー** の質問。

- [ドロップダウン] 質問の選択肢リストにフィーチャ レイヤーまたはテーブルの内容を反映できます。
- 翻訳のエクスポートとインポートが可能です。
- [リッカー] 質問の最大値が 11 になりました。
- 調査完了時に表示されるようにリダイレクト URL を構成できます。
- 位置情報の共有を有効化したり、必須にしたりするための、管理者および調査作成者向けのオプションが追加されました。
- [マップ] 質問を含む調査で、公開されていない変更が調査にあると間違っ表示される不具合を修正しました。
- 繰り返しを含む調査でデータをフィルタリングした場合に、一貫性のない間違っ結果が返される不具合を修正しました。
- 調査所有者ではないユーザーが初めて読み込んだ時に、データが地理的に間違っいた不具合を修正しました。
- クレジットが不十分でもレポートが作成される不具合を修正しました。
- [フィーチャ レイヤーからデータを照会した際にエラーが発生しました] というエラー メッセージでレポートが予期せず失敗する不具合を修正しました。
- 複数のリレーションシップがあるレイヤーとテーブルに基づいて、レポートで getCount() を使用して関連レコード数を取得できない不具合を修正しました。
- [Microsoft Power Automate](#) または [Make](#) のレポート作成コネクタでサマリー レポートを作成できるようになりました。

更新日: 2023 年 4 月 18 日

この更新には、Survey123 Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正、追加された機能です。

- Google Chrome と Microsoft Edge の日付質問で年の桁を入力するたびに、日数が 1 日ずつ減る不具合を修正しました。
- false に評価される **[body::esri:visible]** 列で、field-list 表示設定のグループに式がある場合に空のページが表示される不具合を修正しました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 調査にマップ質問が含まれている場合、**[デザイン]** ページでプレビュー モードが読み込まれるまで 1 分を超える不具合を修正しました。
- 調査の結果が共有されている場合、調査と関連付けられているレポート テンプレートが共有されない不具合を修正しました。
- Survey123 Connect から公開され、大量の繰り返しが含まれている調査の結果を共有する際にタイムアウト エラーが発生する不具合を修正しました。
- ArcGIS Enterprise に公開された調査を編集する際、URL で画像を挿入できない不具合を修正しました。
- 選択肢の名前にスマート (二重) 引用符がある場合、ランキング質問の選択肢の平均スコアが **[分析]** ページで 0

と表示される不具合を修正しました。

2023 年 3 月 21 日更新

この更新には、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれていません。

Survey123 Connect (バージョン 3.17.55)

調査の送信に、必須であるが表示されていない質問が含まれている場合 (表示設定が [非表示] であるか、**[body::esri:visible]** 列の式による)、整合チェックできない不具合を修正しました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.17.68)

下記は、修正、追加された機能です。

- 必須であるが表示されていない質問が含まれている場合 (表示設定が [非表示] であるか、**[body::esri:visible]** 列の式による)、調査を送信できない不具合を修正しました。
- 入力マスクが定義されている未回答の質問でマスク テキストが送信される不具合を修正しました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- 画像、ファイル、または音声の質問の回答で、ファイル名が 140 文字を超える場合、調査の送信エラーの代わりに警告メッセージが表示され、調査の送信が行われなくなりました。
- 多言語の調査において、一部言語の単一選択グリッドの質問の質問ラベルが、想定される幅を超える不具合を修正しました。
- 多言語の調査において、**非表示** URL パラメーターが動作しない不具合を修正しました。
- 画像の質問と同じ名前の繰り返し内に、画像の質問が含まれている場合、画像の質問が表示されない不具合を修正しました。
- モバイル デバイスから送信される調査に、デバイスの位置を使用して入力されるジオポイントの質問が含まれる場合、Z 値が無効になったフィーチャ レイヤーに回答が送信される不具合を修正しました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- **[データ]** タブに日付フィルターを適用できない不具合を修正しました。
- 画像の質問と等しくないキーワードを含む画像の添付ファイルが、**[データ]** タブのフォーム ビューに添付ファイルとして表示されない不具合を修正しました。
- 調査を正常に保存または公開した後、未保存または未公開の変更があるというプロンプトが **[設計]** タブに誤って表示される不具合を修正しました。
- **回転**方法が、予期される縦横比を維持しない不具合を修正しました。

2023 年 2 月 21 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.17.54)

下記は、修正および改善された機能です。

- 調査を解析するための新しいツール。Survey123 Connect を Python 環境で構成する必要があります。「[調査の分析](#)」をご参照ください。
- 利用可能な場合に ArcGIS Pro Python 環境を自動的に検出して使用します。
- ジオポイントの質問の場合、デフォルト値を position に設定すると、関連する質問になると、デバイスの現在の場所に自動的に更新されます。「[デフォルト](#)」をご参照ください。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.17.66)

下記は、修正および改善された機能です。

- 多言語調査用の言語リストが、言語コードのアルファベット順に表示されるようになりました。
- 計算と関連する条件式の相互作用が改善されました。
- [送信箱] が、送信エラーを示す項目のみを含んでいる場合に表示されないという不具合を修正しました。
- 入力マスクが無効な場合に調査を送信できない不具合を修正しました。
- ギャラリー ページの複数のコピーが互いに重なって配置される不具合を修正しました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- [範囲](#)の質問タイプがサポートされるようになりました。
- デバイスが報告する位置の水平精度がマップ上に円で表示されます。
- 調査に関連レイヤーが含まれていない場合に、既存のレコードを編集すると、関連レコードが予期せず削除される不具合を修正しました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- ジオポイントの質問で計算を作成するとき、水平精度と高度のプロパティがサポートされるようになりました。
- レポート テンプレートで Web マップ アイテム ID とマップ縮尺を設定するために使用する新しい map および mapScale メソッドが導入されました。mapSettings メソッドを置き換えます。「[マップの質問](#)」をご参照ください。
- レポート テンプレートでオーディオの回答の期間を取得するために使用する新しい duration パラメーターが getValue メソッドでサポートされるようになりました。
- アクセシビリティを向上させるために、サンプル レポート テンプレートのセクション タイトルに見出しのスタイルが使用されるようになりました。
- 調査を保存するときに、調査スキーマで質問名が予期せず変更される不具合を修正しました。
- 調査がパブリックに共有されている場合に、調査の共同所有者が他のユーザーによって追加された送信内容を編集できない不具合を修正しました。

- 調査に親レイヤーが含まれていない場合に、繰り返しレイヤーを反復処理すると、親レコードのデータを印刷できない不具合を修正しました。

2022 年 12 月 14 日更新

この更新には、Survey123 フィールド アプリと Web アプリの変更が含まれています。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.16.114)

0 の選択肢名が 0 ではなく NULL 値として送信される不具合が修正されました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- 最大許容文字数を超えるテキストが [単一行テキスト] および [複数行テキスト] の質問に含まれる調査を送信するときに、[文字列またはバイナリ データが切り捨てられます。ステートメントが中止されました。] というエラーが返される不具合が修正されました。
- `pulldata("@layer")` 関数を含む 2022 年 10 月リリース以降に公開された調査で [NULL のプロパティを読み取れません ('0' の読み取り)] というエラーが返される不具合が修正されました。

2022 年 12 月 6 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.16.110)

下記は、修正および改善された機能です。

- 質問のラベルがフィールド エイリアスと一致しない既存のフィーチャ レイヤーを参照する調査を公開すると、エラー メッセージが表示されるようになりました。
- [repeat_count] 列の使用時にフィーチャ レイヤーのスキーマに追加の `_count` フィールドが不要になりました。
- アプリのナビゲーションで右横書き言語の表示が改善されました。
- 整数または小数が必要な場合にコード値ドメインが文字列タイプとして作成される不具合が修正されました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.16.113)

下記は、修正および改善された機能です。

- ArcGIS Enterprise および IWA 認証の使用時にユーザーのパスワードが変更されたか、有効期限切れになった場合のサインイン ワークフローが改善されました。
- アプリのナビゲーションで右横書き言語の表示が改善されました。
- Webhook 経由で送信された値のフィールド タイプが質問のフィールド タイプと異なるという不具合が修正されました。
- week-number 表示設定を使用する場合、サマータイム中に正しくない週数が表示される不具合が修正されました。
- table-list 表示設定でダイナミック ラベルをグループで使用する場合、select_one 質問ラベルが表示されない不

具合が修正されました。

- 調査を URL から起動するとき、<https://survey123.arcgis.app/> の起動ページに追加のオプションが追加されました。このページは、Survey123 のインストールが自動的に検出されないときに表示されます。このページに、Microsoft Store 内のフィールド アプリのボタンと、URL パラメーターを含む調査を強制的に起動するボタンが含まれるようになりました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- ファイル アップロード、オーディオ、署名の質問に対し、調査の作成者が定めたファイル名がサポートされるようになりました。「[ファイル名のカスタマイズ](#)」をご参照ください。
- 繰り返し外の質問で、表示設定が minimal の繰り返しの開始の質問と同じ関連式を使用している場合、フォームが読み込まれない不具合を修正しました。
- フォームに表示設定が minimal の繰り返しの質問が含まれており、ラベルが静的な単語と別の質問から取得した動的な値で構成されている場合、関連式を持つ select_one 質問に対して値を選択できない不具合を修正しました。
- **[body::esri:visible]** 列の式によって必須の質問が非表示になるため、調査を送信できない不具合を修正しました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- 多言語調査の作成。「[複数言語の管理](#)」をご参照ください。
- **[データ]** ページと **[解析]** ページのマップ コントロールで、組織のマップ設定が優先されるようになりました。
- レポートに印刷されるマップの範囲を定義するには、mapExtent を使用します。「[レポート テンプレート](#)」をご参照ください。
- 多数のレコードを含む複数のレイヤーを参照するレポートと、多くの統計情報プレースホルダーを含むレポートテンプレートのパフォーマンスを改善しました。
- クエリ リクエストに (1=1) AND (1=1) の予期しない句が付加される不具合を修正しました。
- 特定の順序を持つフィールドの個別値を検索するときに **[400: クエリを実行できません]** エラー メッセージが返される不具合を修正しました。

2022 年 11 月 7 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.16.106)

送信 URL の使用時に一部の公開エラーが表示されなかった不具合を修正しました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.16.107)

一部のデバイスで、アプリのリンクが想定どおりに動作しないことがある不具合を修正しました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- 日付ピッカーの一部のロケールで、年が見つからず日付の順序が正しくなかった不具合を修正しました。
- Firefox で、時間の質問アイコンが表示されなかった不具合を修正しました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- [データ] および [解析] ページで、値フィルターを適用できなかった不具合を修正しました。
- 一部の Samsung デバイスで撮影した写真が、レポート内での印刷時に [未定義のプロパティ 'width' を読み取れません] というエラーを返していた不具合を修正しました。
- [画像]、[ファイル アップロード]、[オーディオ] の質問で、関連するルールの設定が機能しなかった不具合を修正しました。

2022 年 10 月 25 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.16.105)

下記は、修正および改善された機能です。

- 調査の再公開時にフィーチャ レイヤー ドメインとフィールド エイリアスの更新に対するサポートを追加しました。
- search() 表示設定を使用したダイナミック選択肢リストにフィーチャ レイヤー ドメインが作成されなくなりました。
- フィーチャ レイヤーに存在しないフィールド名のリストが調査の公開時に表示されます。
- pulldata("@layer") 関数によるフィーチャ レイヤーのクエリに対するサポートを追加しました。「[フィーチャ レイヤーのクエリ](#)」をご参照ください。
- リンクされたコンテンツとしての .tpkx マップ パッケージに対するサポートを追加しました。
- 組織のテンプレートのサポートを追加しました。「[組織の設定](#)」をご参照ください。
- 既存の調査から調査を作成する際に、スタイル設定が適用されるようになりました。
- テンプレートとサンプルに関するフィードバックを送信するオプションを追加しました。
- ユーザーが生成したコミュニティ テンプレートの送信に対するサポートを追加しました。
- 既存の調査を最新のテンプレートに更新するための新しいツール。「[テンプレートの更新](#)」をご参照ください。
- [メディア] フォルダーに XLSPalette テンプレート ファイルを作成するための新しいツール。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.16.106)

下記は、修正および改善された機能です。

- pulldata("@layer") 関数によるフィーチャ レイヤーのクエリに対するサポートを追加しました。
- MDM 環境のアプリ単位 VPN 構成のサインインの問題に対処するために、delaySignIn AppConfig プロパティを追加しました。
- .tpkx マップ パッケージに対するサポートを追加しました。
- オフラインから復帰したとき、またはアプリがバックグラウンドで動作していて、トークンの有効期限が切れたときにユーザーがサインアウトする可能性がある不具合を修正しました。
- ArcGIS Enterprise の使用時に q:globalId URL パラメーターの使用が失敗していた不具合を修正しました。
- 「Update Surveys」が誤ってポルトガル語 (ブラジル) に翻訳されていた不具合を修正しました。
- アラビア語で基本方向が正しく表示されていなかった不具合を修正しました。
- format-date() 関数によってアラビア語で過度にローカライズされた数値が返されていた不具合を修正しました。
- 31 日未満の月の日付を選択した場合に間違った月が選択されてしまう日付の質問の不具合を修正しました。
- Android で、一部のデバイス (Trimble TDC600、Samsung Galaxy S21、Samsung Galaxy S22 など) でジオポイントの質問が有効な位置で更新されていなかった不具合を修正しました。
- Android で、一部のデバイスでサポートされている言語が表示されないことがあった不具合を修正しました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- フィーチャ レイヤーでの空間計算と属性計算のサポートを追加しました。
- オーディオの質問のサポートを追加しました。
- マップの質問のベースマップを変更した後にライン フィーチャが表示されていなかった不具合を修正しました。
- 関連する条件が変わっていた場合に、選択肢フィルターがある質問が応答しなくなっていた不具合を修正しました。
- 検索または計算で指定されたポイント位置の適切な範囲がマップで自動的に拡大されなかった不具合を修正しました。
- 複数言語調査のマップの質問のラベルがモバイル デバイスで適切に表示されていなかった不具合を修正しました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- 組織テンプレートからの調査の作成のサポートを追加しました。「[組織の設定](#)」をご参照ください。
- ユーザーが生成したコミュニティ テンプレートからの調査の作成のサポートを追加しました。
- 計算を作成する際のユーザー エクスペリエンスを改善しました。
- フィーチャ レイヤーでの空間計算と属性計算の作成のサポートを追加しました。「[計算](#)」をご参照ください。
- [オーディオ] の質問の作成のサポートを追加しました。「[オーディオ](#)」をご参照ください。

- **[データ]** タブのフォーム ビューでオーディオ レコーディングを再生する際の波形の表示のサポートを追加しました。
- 選択肢の質問で重複する選択肢ラベルが検出された場合の警告メッセージの表示のサポートを追加しました。
- 調査のフォルダーに作成される **[fieldworker]** と **[stakeholder]** の各フィーチャ レイヤー ビューの名前をそれぞれ **[form]** と **[results]** に変更しました。
- 調査公開時に、generated_note_form_title という名前の XLSForm のメモの質問にフォームのタイトル、調査の説明、画像ヘッダーが書き込まれるように変更しました。
- ページ更新後に Web デザイナーで単一選択肢の質問のデフォルト値が適用されていなかった不具合を修正しました。
- **[bind::esri:fieldType]** 列の無効な値がレポートの失敗につながっていた不具合を修正しました。

2022 年 9 月 20 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.15.178)

下記は、修正および改善された機能です。

- 右横書き言語の表示が改善されました。
- サインイン ページが正しい言語で開かれられない不具合が修正されました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.15.159)

下記は、修正および改善された機能です。

- view アクションの使用時の URL コールバックのサポートが追加されました。「[フィールド アプリのパラメーター](#)」をご参照ください。
- edit アクションの使用時に URL コールバックが妨げられる不具合が修正されました。
- **[収集]** が無効の場合に、Survey123 のリンクが **[概要]** フォルダーを開く不具合が修正されました。
- ソーシャル ログインがキャッシュされてサインアウトしない不具合が修正されました。
- サインイン ページが正しい言語で開かれられない不具合が修正されました。
- **[受信トレイ]** に返されるレコードの数が、フィーチャ サービスで設定された maxRecordCount に制限されていた不具合が修正されました。**[受信ボックス]** は、最大 5,000 件の調査回答を受信できるようになりました。「[編集の有効化](#)」をご参照ください。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- 調査の回答を編集するときに、一部のロケールで計算が期待どおりに機能しない不具合が修正されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- レコード送信者が更新および編集できるレコードを説明する、[共同作業] ページに表示される情報が改善されました。
- ベースマップがフィーチャ レイヤーと異なる座標系を使用している場合に、レポート内のマップがフィーチャにズームしない不具合が修正されました。

2022 年 8 月 23 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123 フィールド アプリと Web アプリ、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.15.175)

下記は、修正および改善された機能です。

- アプリ全体でサムネイル、説明、アイコン、および設定メニューの右横書き言語の表示が改善されました。
- [リンクされたコンテンツ] タブで、ファイル サイズの計算に間違った小数点の記号が使用される不具合が修正されました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.15.156)

下記は、修正および改善された機能です。

- [新しい調査の収集を許可] 設定を無効にするときに調査タイルを長押しする動作が改善されました。
- お気に入りの回答メニューの右横書き言語の表示が改善されました。
- フィールド アプリ全体でサムネイル、説明、アイコン、および設定メニューの右横書き言語の表示が改善されました。
- 画像の幅と高さの EXIF 情報が間違っ格納される不具合が修正されました。
- ArcGIS Enterprise のパブリック フィーチャ サービスに対して search() を使用すると、ArcGIS Online にサインインするときに失敗する不具合が修正されました。
- 12 時間形式と 24 時間形式を切り替えると時間セクターが正しく表示されない不具合が修正されました。
- ジオトレースとジオシェープの質問でモバイル マップ パッケージが歪んで表示される不具合が修正されました。
- [オフライン マップ]、[マップ ギャラリー]、[リンクされたコンテンツ]、[ファイルの質問]、および [設定] メニューで、ファイル サイズの計算に間違った小数点の記号が使用される不具合が修正されました。
- フォワード プロキシ設定が間違っ無視される不具合が修正されました。
- 組織にサイン インした場合に別の組織を参照しているリンクを開くと、調査フォーム アイテムをダウンロードできない不具合が修正されました。
- iOS では、pulldata("@Property", 'deviceModel') パラメーターを使用した場合のデバイス モデル出力が改善されました。
- Windows では、表示縮尺が 100% に設定されていない場合、画面移動するとジオトレースまたはジオシェープのジオメトリがシフトする不具合が修正されました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- モバイル ブラウザーで単一選択肢グリッドの質問タイプのレイアウトが改善されました。
- 画像およびファイル アップロードの質問にファイルを追加する際のドラッグ アンド ドロップをサポートします。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- データ品質を改善するために住所の質問に対する最小一致精度の設定をサポートします。
- 調査を共有するときに、作成者はリンクされたアイテムを共有しないようにすることができます。

2022 年 7 月 28 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.15.170)

下記は、修正および改善された機能です。

- 読み取り専用の質問で空の値を含む計算をサポートするために新しい calculationMode=whenEmpty パラメーターが追加されました。
- 編集が有効化された状態で調査が公開された場合、匿名ユーザーが調査を編集できるようになりました。
- 調査の新規作成に使用するギャラリーでテンプレートとサンプルの詳細情報が表示されるようになりました。
- コミュニティ テンプレートを参照するときに、スクロール バーが予期せずウィンドウの最上部に戻る不具合が修正されました。
- フィーチャ サービスから読み込まれたドメイン名に含まれるスペースが XLSForm の要件に従って置換されるようになりました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.15.151)

下記は、修正および改善された機能です。

- 調査を閉じるダイアログ ボックスで順序が変わって [ドラフトに保存] が 1 つ目のオプションになりました。
- URL パラメーター folder=inbox&update=true が失敗する原因となる不具合が修正されました。
- 複数のリバース ジオコード リクエストがジオコード サービスに繰り返し送信される不具合が修正されました。
- EXIF の画像方向の値が、写真撮影時のカメラの方向に関係なく常に 1 として格納される不具合が修正されました。
- 画像のプレビュー ウィンドウで画面移動とズームがすべてのオペレーティング システムで直観的に動作するように改善されました。
- ギャラリー タイルとフォルダー リスト ビューのコンテンツでの右横書き言語の表示の問題が修正されました。
- iOS で、回転のロックを有効にすると、横向きの写真が縦向きに保存される不具合が修正されました。
- Android で、オーディオ ファイル サイズの計算が改善されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- [デザイン] > [追加] パネルの質問がカテゴリにグループ化されるようになりました。
- 数値計算での小数桁数を設定するオプションを使用できます。
- マップの質問でスナップをサポートするためのオプションが追加されました。
- [データ] ページの [レポート] パネルでレポート タスクをキャンセルまたは削除することができます。
- 既存のレポートと名前が競合する新規レポートの作成を処理するための新しいオプションが [レポート] パネルに追加されました。
- 既存のレポートと名前が競合する新規レポートの作成を処理するための [レポート API](#) パラメーターが追加されました。
- 進行中の印刷タスクをキャンセルしたり完了したタスクを削除したりする [レポート API](#) 操作が追加されました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- マップの質問でのスナップ。

2022 年 6 月 21 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.15.165)

下記は、修正および改善された機能です。

- 調査の作成者は、計算または質問の回答に基づいて画像のファイル名を設定できます。
- 調査の作成者は、画像ファイル名の表示設定と、調査内の画像添付ファイルの名前変更機能を構成できます。
- ジオシェープおよびジオトレースの質問を、頂点のストリーミングが有効になるように構成できます。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.15.145)

下記は、修正および改善された機能です。

- ジオシェープおよびジオトレースのジオメトリは、現在位置から頂点をストリーミングすることで取得できます。
- オーディオ添付ファイルのファイル サイズが削減されました。
- 調査の作成者によって構成されている場合、画像ファイル名の表示設定を変更したり、画像添付ファイル名を変更したりできます。
- autocomplete の質問を使用するときのグリッド テーマの配置が改善されました。
- カメラ、バー コード、ベースマップ選択、位置ステータス、設定の各ページで、右から左に記述する言語の書式設定の問題が修正されました。
- 多数の画像が含まれている調査を開こうとするとアプリが強制終了する不具合が修正されました。
- Android 11 および 12 で、Spike を使用して計測値を取得するときに距離と目的地の値が欠落する不具合が修正

されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- ある質問の回答を別の質問のラベルの一部として使用できるようになりました。
- 送信した回答を編集または表示できるリンクが調査のありがとうございました画面に追加できるようになりました。
- 自動的に調査を自動的に再読み込みして新しいレコードを取得できるように、ありがとうございました画面を構成できます。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- ソーシャルメディアで共有するときに、調査のタイトル、サムネイル、概要を表示します。
- Survey123 Connect で調査の作成者によって構成されている場合、マップの質問は指定した小数点以下の表示桁数をサポートするようになりました。

Web アプリでは、バージョン 2.5 以前で公開された調査はサポートされなくなりました。「[Web アプリのバージョン](#)」をご参照ください。

2022 年 5 月 26 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.14.281)

下記は、修正および改善された機能です。

- pulldata() プロパティが新たに追加されました。「[デバイスとユーザー プロパティ](#)」をご参照ください。
- 新しいフィールドがある調査が Survey123 Connect によって再公開されると、ホスト レイヤー ビューにそれらのフィールドが反映されるようになりました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.14.262)

下記は、修正および改善された機能です。

- UTM の東距と北距で 10 進数を構成できます。「[座標形式](#)」をご参照ください。
- dateTime の質問の外をクリックした後に日付の選択が保存されない不具合を修正しました。
- 受信トレイで画像を含む調査が読み込まれない不具合を修正しました。
- 画像タイル ビューアーで大量の画像を操作するとアプリがクラッシュする不具合を修正しました。
- 編集が完了した後、ライン フィーチャまたはポリゴン フィーチャが予期せず移動する不具合を修正しました。
- Web デザイナーで調査を作成した際に、送信済み調査を編集できない不具合を修正しました。
- Android で、高精度な受信機からの予測位置情報がアプリに表示または保存されない不具合が修正されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- ジオメトリを取得する最小マップ縮尺を調査作成者が設定できます。
- 調査を他のユーザーと共有する際、関連アイテム (Web マップやロケータなど) の共有レベルを変更するよう作成者に求められます。
- 追加のデバイスとユーザー プロパティを Web デザイナーの計算で使用できます。Web デザイナーの「[デバイスとユーザー プロパティ](#)」をご参照ください。
- pulldata() プロパティが新たに追加されました。「[デバイスとユーザー プロパティ](#)」をご参照ください。
- フィーチャ レイヤーの maxRecordCount 値が超過している場合でも、すべてのレコードがレポートに出力されるようになりました。
- レポートは PDF のアクセシビリティ コンプライアンスに準拠しています。

2022 年 4 月 19 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.14.274)

ブルガリア語のサポートが追加されました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.14.255)

下記は、修正および改善された機能です。

- ブルガリア語のサポートが追加されました。
- 値を削除する、関連性のある計算式が、フィーチャ レイヤーを正しく更新するようになりました。
- [受信トレイ] からの送信時に、値から先頭のゼロが削除されなくなりました。
- 4800 以外の出力ボーレートで GNSS 受信機に接続する機能が追加されました。
- MP4 添付ファイルが不適切なコンテンツ タイプでアップロードされる不具合が修正されました。
- デフォルト値を持つ、前の質問に基づく関連式がデータを正しく入力しない不具合が修正されました。
- select_one_from_file の質問の整数選択ラベルが、[受信トレイ] からの読み込み時に表示されるようになりました。
- デフォルトが適用されている場合、オートコンプリートの表示設定が指定された select_one の質問が正しく表示されない不具合が修正されました。
- 繰り返しレコード間を移動するときに、繰り返しのオートコンプリートの表示設定が指定された select_one の質問で、選択肢のラベルではなく選択肢の名前が表示される不具合が修正されました。
- 繰り返しにオートコンプリートの表示設定が指定された select_one の質問が、最初の繰り返しでデフォルトのみが入力される不具合が修正されました。
- 公開調査が ArcGIS Enterprise で保存された場合、匿名アクセスが無効なユーザーがその調査をダウンロードできない不具合が修正されました。
- Android で、Spike によって収集された画像が正しく表示されない不具合が修正されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- ブルガリア語のサポートが追加されました。
- レポートで、一意の値および一意の値の数のほか、range、first、last、および median 統計情報タイプがサポートされるようになりました。
- モバイル デバイスで [マップ] の質問に回答する際、確認ボタンが追加されました。
- 1 つの質問を選択してフィルタリングすると空白のドロップダウン エントリが表示される不具合が修正されました。
- 調査タイトルに大文字が含まれていると、画像の質問に count-selected の制約が適用されない不具合が修正されました。
- ネストされた繰り返しのフィールドから派生した統計情報が、調査レコードに繰り返しレコードがない場合に予期しない結果を生成する、レポート テンプレートの不具合が修正されました。
- ダイアログ ボックス内に収まらない特定のエラー メッセージが修正されました。

2022 年 3 月 22 日更新

この更新には、Survey123 Connect、Survey123、および Survey123 Web サイトの変更が含まれています。

Survey123 Connect (バージョン 3.14.261)

下記は、修正および改善された機能です。

- [コントラスト比] ダイアログ ボックスで、小数点の記号がシステム ロケールに従って表示されます。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.14.242)

下記は、修正および改善された機能です。

- ジオポイントの質問が [press-to-locate の表示設定](#) をサポートするようになりました
- URL パラメーターを参照すると、既存の調査が表示されるようになりました。
- URL パラメーターを使用して調査を開いたときに受信トレイが更新されない不具合が修正されました。
- 正しい値の表示の失敗に関連する質問を作成する URL パラメーターの原因となった不具合が修正されました。
- 既存の調査を編集する際にグループ展開/折りたたみインジケーターが表示されない不具合が修正されました。
- 画像を編集してレコードに追加するときに、Webhook がトリガーされるようになりました。
- Android で、入力マスクの使用時に数字が切詰められなくなりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- Web デザイナーで、[調査から非表示にする] オプションを [単一の選択肢] と [ドロップダウン] の質問に使用できるようになりました。
- Web デザイナーで、[回答を送信しない] オプションを [住所] の質問に使用できるようになりました。
- hide URL パラメーターで、データが送信されていない状態で Web ページを終了する際に警告メッセージが表示

されないようにする leaveDialog プロパティがサポートされるようになりました。

- レポート テンプレートで、他の属性値を連結することで Where 句を動的に作成できるようになりました。
- 複数選択肢の質問に基づいた調査結果のフィルターで選択肢が読み込まれない不具合が修正されました。
- stakeholder ビューでレイヤー ID が保持されない不具合が修正されました。
- 公開前に初期ジオメトリが記録された場合に質問の整合チェックが適用されない不具合が修正されました。
- Survey123 Connect から公開されている調査にカスタム ベースマップからのタイル パッケージが含まれている場合に調査が共有されない不具合が修正されました。
- Android で、QR コードをスキャンしても調査が開かない不具合が修正されました。
- iOS で、読み取り専用の日付と時刻の質問が編集可能になっていた不具合が修正されました。

2022 年 2 月 22 日更新

Survey123 Connect (バージョン 3.14.256)

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しい calculationMode パラメーターを使用すると、計算が実行される場合を構成できます。
- draw と annotate の質問用のカスタム描画ツール パレットを追加できるようになりました。
- 調査の新しい [メディア] タブを使用すると、メディア フォルダー内のファイルを表示したり開いたりできます。
- 調査の公開時に作成されるフィーチャ レイヤーの機能が更新されました。
- 調査のドラフトが [調査] や [組織] のリストに表示されなくなりました。
- 繰り返し内の空の値が JavaScript 関数に渡される場合、未定義の値が NULL 値と区別されるようになりました。
- ベゼルのプレビューが更新されました。
- 開始と終了の質問にサマータイムが考慮される場合、それが正しく設定されずに公開される不具合が修正されました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.14.237)

下記は、修正および改善された機能です。

- 計算のパフォーマンスが改善され、速度と安定性が向上しました。
- 新しい [概要] フォルダーは、現在デバイス上にあるすべての調査の回答のリストとマップ ビューを提供します。このフォルダーは、Survey123 Connect で調査単位で有効にする必要があります。
- annotate の質問の UI とワークフローが改善され、複数の取得方法を使用できるようになりました。
- 自動入力の選択肢リストに 10 桁以上の整数の選択肢名がある場合に、無効な結果が返されなくなりました。
- バーコード スキャンの UI が改善されました。
- [調査のダウンロード] ページ内のすべての調査が同じサムネイルになる不具合が修正されました。
- 統合 Windows 認証でポータルを使用している場合、リンクされた Web マップがある調査にアクセスするときに、ユーザーがアプリによって Active Directory からロックアウトされなくなりました。

- 新しい繰り返しレコードを生成するときの強制終了が修正されました。
- [ドラフト]、[送信済み]、[送信トレイ] を介して開いたときに、繰り返し内のデフォルト画像が読み込まれない問題が修正されました。
- ログインがキャッシュされなくなりました。キャッシュのために、前のユーザーがサインアウトすると新しいユーザーがサインインできませんでした。
- 受信トレイから開いた回答で、NULL フィールドタイプを含む質問に計算を実行できない不具合が修正されました。
- 動的な URL を使用した画像が表示されない不具合が修正されました。
- ネストされた繰り返し内にある関連質問が、空白または重複した回答を送信する不具合が修正されました。
- グループまたは繰り返し内の table-list 表示設定の質問で、ラベルが表示されない不具合が修正されました。
- Android で、カスタム ジオコーダーを使用しているときのジオサーチによる強制終了が修正されました。
- iOS で、複数の連続した計算による強制終了が修正されました。
- iOS で、多数の関連質問がある調査を読み込むときの強制終了が修正されました。
- iOS で、グループ内の質問の関連性に変更を加えたときの強制終了が修正されました。
- iOS で、制限なしのウォーターマーク画像が 1920 x 1080 ピクセルに制限されなくなりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- Web デザイナーで [マップ] または [住所] の質問を追加するときに、特定のジオコーディング サービスを設定できるようになりました。
- Web デザイナーが [マップ] の質問で、組織のベースマップ グループ以外のベースマップの設定をサポートできるようになりました。
- [住所] の質問で、結果の最大数を Web デザイナーで変更できるようになりました。
- レポートを印刷するときに、複数のレコードを 1 つのマップに含めることができるようになりました。
- 調査を開いたときに位置を取得できるようになりました。
- レポートが、画像の回転をサポートするようになりました。
- 日時の質問の UI とアクセシビリティが改善されました。

2021 年 12 月 14 日更新

Survey123 Connect (バージョン 3.13.251)

IWA 認証を使用する ArcGIS Enterprise ソリューションを使用して既存のフィーチャ レイヤーに公開する際のエラーを修正しました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.13.246)

IWA 認証を使用する ArcGIS Enterprise ソリューションを使用して受信トレイの記録を読み込む際、画像が返されない不具合を修正しました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- [画像] の質問と [ファイル アップロード] の質問に対して、添付ファイルの最大サイズを設定するための新しいオプションが追加されました。添付ファイルの最大サイズは、ArcGIS Online を使用する場合は 100 MB、ArcGIS Enterprise を使用する場合は 20 MB に設定できます。
- 調査の情報は、調査のタイトルの横にあるボタンをクリックすることで、どの調査ページからでも編集できるようになりました。
- Survey123 Connect の **[bind::esri:style]** 列で `maxResults` パラメーターを設定すると、[住所] の質問の結果の最大数を設定できるようになりました。

2021 年 11 月 16 日更新

Survey123 Connect (バージョン 3.13.249)

下記は、修正および改善された機能です。

- `fixed-grid` スタイルと `dynamic-grid` スタイルを使用して、グリッド レイアウトの調査を作成できるようになりました。 `theme-grid` スタイルは、下位互換性のために引き続きサポートされます。
- グリッド レイアウトのスタイルは、グループごと、または繰り返しごとに適用できるようになりました。
- ネストされた繰り返しとネストされたグループは、列とスパンを個別に指定できるようになりました。
- [スクリプト] タブで、スクリプト テキストのサイズとフォントを変更できます。
- 表示設定が `signature` の画像の質問で、デフォルトの画像を背景として設定できます。
- `max-pixels` パラメーターを使用して、表示設定が `signature` の画像の質問の最大幅を設定できます。
- 表示設定が `signature` の画像の質問で、`multiline` の表示設定がサポートされるようになり、調査内の同じ質問に複数の添付ファイルを使用できるようになりました。
- 新しい `overlay` パラメーターを使用して、調査内の任意のマップ上に繰り返しジオポイントを表示できます。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.13.244)

下記は、修正および改善された機能です。

- `draw` および `annotate` の表示設定のキャンバスで、画像を保存する前に新しいグラフィックス エlementを編集できます。
- 受信トレイを介して署名の添付ファイルを表示および追加できるようになりました。
- 表示設定が `signature` の画像の質問が、署名のためのポップアップを開くボタンとして表示されます。複数の署名をキャプチャできます。
- テキストの質問の `geocode` 表示設定の安定性とローカライズが向上しました。
- Windows で、機内モードが正しく検出されない不具合が修正されました。
- Android で、アプリが起動時に強制終了する原因となる問題が修正されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- **[解析]** ページで多数のレコードがあるワードクラウドチャートのパフォーマンスを改善しました。
- 非常に大きな選択肢リストを読み込む際の **[解析]** ページのパフォーマンスを改善しました。

2021 年 10 月 25 日更新

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- 調査を共有すると、調査の共有相手のユーザーが調査結果を読むことができるようになる場合は、**[共同作業]** ページに警告メッセージが表示されるようになりました。
- 調査がフィーチャレイヤービューを使用していない場合、**[共同作業]** ページにメッセージが表示されるようになりました。
- **[データ]** ページと **[解析]** ページで、繰り返しに含まれる質問に対してフィルターが機能しない不具合が修正されました。
- レポートの印刷時に間違った数のクレジットが消費される不具合が修正されました。
- Web アプリで、計算が別の質問を参照する場合、住所の質問が設定されない不具合が修正されました。
- Web アプリにおいて、Survey123 Connect で作成された調査の「ありがとうございました」ページにリンクが HTML コードとして表示されなくなりました。
- 新しいテンプレート **[Oiled Wildlife Report]** が追加されました。

2021 年 10 月 7 日更新

Survey123 Connect (バージョン 3.13.239)

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しいレコードを収集する際、または既存のレコードを開く際の、大規模な調査の読み込み時間が改善されました。
- 外部ブラウザを介して ArcGIS Online または ArcGIS Enterprise にサインインできない不具合が修正されました。

Survey123 フィールドアプリ (バージョン 3.13.234)

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しいレコードを収集する際、または既存のレコードを開く際の、大規模な調査の読み込み時間が改善されました。
- 外部ブラウザを介して ArcGIS Online または ArcGIS Enterprise にサインインできない不具合が修正されました。
- 署名の画像を表示すると、画像がトリミングされており、黒い背景が多すぎる不具合が修正されました。
- 既存のレコードを編集する際、画像の質問に送信済みの画像が含まれる場合でも、要求されたメッセージが表示される不具合が修正されました。

- カスケード式の選択で別の選択フィルター値を選択しても、選択リスト値が再設定されない不具合が修正されました。
- URL が設定された search() 表示設定を使用する既存のレコードを開くと、選択リスト値が消去される不具合が修正されました。

2021 年 9 月 16 日更新

Survey123 Connect (バージョン 3.13.234)

下記は、修正および改善された機能です。

- ジオコーディングされた住所を検索し、geocode 表示設定を使用してテキストの質問で送信できます。
- ドローイング ツールとアノテーション ツールが拡張され、シンボルとラインのスタイル、色、テキスト オプションの選択肢が増えました。
- 新しい search() 表示設定で、既存のフィーチャ レイヤーにクエリを適用することで、選択肢リストを動的に設定できます。
- max-pixels パラメーターを使用し、draw 表示設定の質問にキャンバス サイズを設定できるようになりました。
- 調査スタイルを pages に設定したときに、Table-list 表示設定が予期したとおりに動作するようになりました。
- **[body::accept]** 列のサポートが追加され、file の質問を特定のファイル タイプに制限できるようになりました。
- backgroundColor パラメーターで、グリッドテーマの調査の繰り返しをサポートできるようになりました。
- 内部の繰り返しにのみ質問を追加したときに、再公開時にアプリがハングしなくなりました。
- minimal または autocomplete の表示設定で select_one の質問のデフォルト設定を使用するときに、ラベルが表示されなくなる不具合が修正されました。
- Google アカウントにリンクした ArcGIS アカウントを使用するときに、サインインできない問題が修正されました。
- 公開時に 301 エラーまたは 302 エラーが発生したときに、空白のフィーチャ レイヤーが作成されなくなりました。
- スロバキア語がサポートされました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.13.229)

下記は、修正および改善された機能です。

- ジオコーディングされた住所を検索し、geocode 表示設定を使用してテキストの質問で送信できます。
- 公開された調査で受信トレイにアクセスできるようになりました。
- 既存のレコードの画像添付ファイルを表示および追加できます。
- ドローイング ツールとアノテーション ツールが拡張され、シンボルとラインのスタイル、色、テキスト オプションの選択肢が増えました。

- アノテーションのキャンバス サイズでは、指定された画像の解像度に従います。
- 数値に見えるが実際は文字列の値から、先頭のゼロが削除されなくなりました。
- フィールド アプリをバックグラウンドに移動しても (コールバック URL を使用して別のアプリに戻る場合など)、調査の送信が失敗しなくなりました。
- annotate 表示設定の質問に指定された画像の EXIF プロパティが、アノテーション付きの画像にコピーされません。
- ネットワーク位置センサーの検出のサポートが追加されました。
- Android の file の質問タイプで .gtar、.csv、.xml、.avi、および .bmp ファイル タイプがサポートされるようになりました。
- 選択肢リストを含む質問は、グリッドテーマの調査で上揃いになりました。
- OpenStreetMap Daylight Esri ストリート スタイル ベースマップを使用して拡大縮小または画面移動しても、アプリがクラッシュしなくなりました。
- タイル イメージ レイヤーとラスター タイル パッケージが Web マップに表示される不具合が修正されました。
- [受信トレイ] が自動的にスクロールされる不具合が修正されました。
- Google アカウントにリンクした ArcGIS アカウントを使用するときに、サインインできない問題が修正されました。
- Android で、複数の選択肢の質問の autocomplete 表示設定でデフォルト キーボードを使用するときの不具合が修正されました。
- iOS 14 で、ユーザーがフォト ギャラリーから画像を選択できない不具合を修正しました。
- スロバキア語がサポートされました。

Survey123 Web サイト

注意:

Internet Explorer 11 と Microsoft Edge Legacy のサポートは非推奨になりました。これには、バージョンがロックされた調査も含まれます。


Survey123 Web サイトには、次の修正と改善が含まれます。

- 調査を初めて公開した後、Survey123 Web サイトで、その調査のすべてのページで名前を変更できるようになりました。
- 調査を作成するために、名前またはタグを入力する必要がなくなりました。
- マップ画像を印刷するときに、レポート テンプレートの新しい drawingInfo メソッドでシンボル、ラベル、透過表示などのエレメントを定義できるようになりました。
- 繰り返しのユーザー インターフェイスが改善されました。
- レポート テンプレートの新しい format メソッドで、テンプレートで整数長や数値フィールドの桁区切り記号などのエレメントを指定できるようになりました。
- [データ] ページと [解析] ページの画像を拡大縮小できるようになりました。

- 1つのレポートに多数のマップ画像を印刷する際のパフォーマンスが改善されました。
- [データ] ページで日付と時刻の質問を編集するときに、時間が誤って表示される不具合が修正されました。
- 閲覧者ロールのユーザーが一部の添付ファイルを表示できない不具合が修正されました。
- 非表示の質問が [解析] ページに表示されない不具合が修正されました。
- [データ] ページで画像の添付ファイルの名前を変更できない不具合が修正されました。

Survey123 Web デザイナーには、次の修正と改善が含まれます。

- 新しい [住所] の質問タイプが追加され、テキストの質問でジオコーディングされた質問を検索し、送信できるようになりました。
- Web デザイナーの質問で、計算を設計できるようになりました。
- Web サイトと Web デザイナーは HTML タグの整合チェックを行うため、ArcGIS Online でサポートされているものと同じタグを使用できるようになりました。

 **注意:**

過去のリリースで機能していた一部の HTML タグのサポートは終了しました。

- 質問を読み取り専用に変更できるようになりました。
- 質問を非表示に変更できるようになりました。
- 調査の回答の一部として、質問が回答を送信しないよう設定できるようになりました。
- 複数のマップまたは住所の質問を、Web デザイナーの単一の調査に追加できるようになりました。ジオメトリを送信できる質問は1つだけです。
- 入力マスクがサポートされるようになりました。
- メモの質問に埋め込まれた画像が、フル解像度で表示されるようになりました。
- Survey123 Connect で作成された調査の「ありがとうございました」ページの編集を行えない不具合が修正されました。
- 選択肢リストの質問でルール破損の原因となる不具合が修正されました。
- ドイツ語で、マップの質問を追加するときにベースマップが含まれなくなる不具合が修正されました。

Survey123 Web アプリには、次の修正と改善が含まれます。

- Survey123 Web アプリが、Survey123 Connect で設定された検索の表示設定を使用するダイナミック選択肢リストをサポートするようになりました。
- Web アプリがスクリーンリーダーの使用をサポートするようになりました。
- 繰り返しの UI が改善され、特定の繰り返しレコードへのナビゲーションが可能になりました。
- 新しい recalculate URL パラメーターにより、調査レコードを編集するときに、計算を含むフィールドが自動的に再計算されます。
- 調査の言語を変更すると、pulldata("@property", 'language') 関数または jr:choice-name 関数の結果が変更されるようになりました。
- 調査を編集するときに、jr:choice-name() 関数がエラーを生成しなくなりました。

- 必須の日付と時刻の質問に対し、Web アプリが回答を送信しない不具合が修正されました。
- count-selected() の制約を持つ複数行の画像の質問が、複数の画像を送信できない不具合が修正されました。
- 統合 Windows 認証を使用してポータルにサインインするときに、Web アプリが CSV ファイルなどの外部アイテムにアクセスできなくなる不具合が修正されました。

2021 年 3 月 18 日更新

Survey123 Connect (バージョン 3.12.232)

小数記号がカンマのロケールで数値の表示設定を使用している場合に数値を入力できなかった問題が修正されました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.12.277)

小数記号がカンマのロケールで数値の表示設定を使用している場合に数値を入力できなかった問題が修正されました。

Survey123 Web アプリ

下記は、修正および改善された機能です。

- サマータイム期間中の時間に関する問題を解決しても、正確な時間がフィーチャレイヤーに保存されなかった問題が修正されました。
- ドラフトモードが有効になっている調査に非表示の質問が含まれていると、保存済みの回答が表示されない問題が修正されました。
- エンコードされた URL パラメーターが格納されており、?code パラメーターを使用している Web 調査が表示されない問題が修正されました。
- 3.12 より前のバージョンの Survey123 Connect で Web フォームを公開すると、選択肢の質問のレイアウトが不適切な形式になる問題が修正されました。
- 追加のロケールは Web アプリの URL パラメーターとして挿入することができます。「[サポートされている言語](#)」をご参照ください。

2021 年 2 月 25 日のアップデート

Survey123 Connect (バージョン 3.12.230)

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しい [スクリプト] タブを使用して、JavaScript 関数を簡単に操作できるようになりました。
- position および indexed-repeat 関数のサポートが追加されました。これにより、ユーザーがインデックス化された繰り返し内の質問から値をクエリできるようになりました。
- 画像の質問に max-pixels パラメーターのサポートが追加されました。これにより、画像の最大ピクセルを質問単位で設定できるようになりました。
- 列の最大数が指定されている select_one および select_multiple の質問で選択肢を水平方向に表示できるように、[compact-n] 表示設定のサポートが追加されました。
- Windows アプリのインストーラーがアプリの旧バージョンを識別し、ユーザーが以前のインストールの上にイ

インストールできるようになりました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.12.274)

下記は、修正および改善された機能です。

- 選択リストおよびカスケード式の選択の処理で、速度と安定性が向上しました。
- 外部選択の選択フィルターで、名前の値を数値として使用できるようになりました。
- カメラ プレビューが改善され、カメラで撮影される画像がより適切に反映されるようになりました。
- PDF417 バー コードをスキャンするときの速度と信頼性が向上しました。
- Windows でのバー コード スキャナーの回転の処理が改善されました。
- 内部位置センサーの記録で有効な NMEA ログ ファイルが生成されなかった問題が修正されました。
- レジストリ キーを使用した Windows AppConfig エンタープライズ構成プロパティがサポートされるようになりました。
- Windows アプリのインストーラーがアプリの旧バージョンを識別し、ユーザーが以前のインストールの上にインストールできるようになりました。
- Android では、Google Play 要件の変更に従って、最初の起動時に既存のデータ ファイルがアプリ固有のストレージに移動します。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- 調査の作成のために新しいテンプレート ギャラリーが加わりました。
- レポート内で数字の書式設定がサポートされています。
- 調査を共有して、他のユーザーが更新できるようにします。

2020 年 12 月 10 日のアップデート

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- 組織の管理者が調査の所有者を変更できるようになりました。
- **[解析]** ページに、数値の質問を表示したり、カスタムの数値範囲を設定したりする方法が追加されました。
- **[解析]** ページに、ランキングの質問に対してスコアのカスタマイズや回答の非表示を行うオプションが追加されました。
- 調査のタイトル、調査の説明、その他の UI エlementを XLSForm 内で書き換えることができます。詳細については、「[メモ](#)」をご参照ください。
- Survey123 Web アプリの URL が、既存の調査の回答を新しい調査にコピーするパラメーターをサポートするようになりました。
- レポートの作成が改善され、添付ファイルと多数のレコードの処理が向上しました。
- 米国以外のデータ形式を使用する日付の質問が、米国以外の適切な日付形式で回答を送信するようになりました。

2020 年 10 月 15 日のアップデート

Survey123 Connect (バージョン 3.11.123)

下記は、修正および改善された機能です。

- UI に対して大幅な更新が行われました。これには、調査の詳細、スタイル、およびリンクされたコンテンツにすばやくアクセスできるタブが含まれます。
- 調査作成者は、入力の背景色、フッターのテキスト色、およびフッターの背景色を変更できるようになりました。
- すべての質問タイプで [非表示] 表示設定タイプを選択できるようになりました。これにより、表示されている質問が非表示になりますが、デフォルトと計算をそのまま使用できます。
- [ランク] 質問タイプは、以前は Survey123 Web アプリでのみ [ランキング] 質問タイプとして使用可能でしたが、Survey123 Connect に追加できるようになりました。
- 不規則な順序で並べられる選択リストのコンテンツを選択できるようになりました。
- カスケード式の選択を `select_multiple` の質問で使用できるようになりました。
- `select_one` と `select_multiple` の質問の選択リストを調査の `media` フォルダ内の CSV ファイルから読み込むことができるようになりました。
- 新しい調査が既存のフィーチャ サービスから作成されない不具合が修正されました。
- ArcGIS Workforce から送信された調査で住所フィールドが設定されない問題が修正されました。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.11.164)

下記は、修正および改善された機能です。

- ランクの質問が調査でサポートされるようになりました。
- iOS のファイルの質問に、画像またはファイルを選択できるオプションが追加されました。
- 関連しないまたは非表示にしないように構成されたページがビューで非表示になり、空のページで表示されなくなりました。
- ユーザーが時間の質問で AM 時間を保存できなくなる場合がある不具合が修正されました。
- 画像の質問に `draw` および `annotate` の表示設定を使用していると水平線と垂直線が表示されなくなる不具合が修正されました。
- 匿名ユーザーが一般公開の調査の関連マップ ソースおよびオフライン マップ パッケージのダウンロードができなかった問題が修正されました。
- Windows 10 タブレットで、ユーザーがプロフィールと設定のボタンを選択できない不具合が修正されました。
- Juniper Mesa 2 Windows タブレットで、画像の質問にカメラを使用したときにアプリが強制終了する不具合が修正されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- Web サイトの使用に HTTPS が必須になりました。HTTP URL は、すべて HTTPS にリダイレクトされます。

- Web URL パラメーターが、ポリラインおよびポリゴンの質問に対する回答の提供をサポートするようになりました。
- 新しい autoRefresh URL パラメーターは、調査を送信後に自動的に再読み込みするために使用できます。
- 便利な構文の例を提供する、レポートの新しいクイック リファレンスが使用できるようになりました。
- Survey123 Web デザイナーで、デバイスのカメラからの画像のみを受け入れるように、画像の質問を制限するオプションが提供されるようになりました。
- 不規則な順序で並べられる選択リストのコンテンツを選択できるようになりました。
- オンラインの場所に格納された画像をレポートで提供できるようになりました。
- レポートが、マップ ビューの回転をサポートするようになりました。
- レポートが、繰り返しレコードのインデックスや、印刷に選択したレコード セット内のレコードのインデックスを表示できるようになりました。
- 日付と日時の値を、レポートの特定のロケールにローカライズできるようになりました。
- 変数置換が、レポート式でサポートされるようになりました。
- 関係者による調査データのダウンロードを防ぐことができるようになりました。
- Web デザイナーが組織のマップ設定を優先するようになりました。
- Web アプリ全般の読み込み時間およびパフォーマンスが改善されました。
- Web デザイナーで一部の組織が調査を公開できなかった不具合が修正されました。
- 単一の選択肢の質問が、外部ファイルからの選択を使用する場合に機能しなかった不具合が修正されました。

2020 年 9 月 10 日のアップデート

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.10.326)

下記は、修正、追加された機能です。

- ギャラリーから調査を更新するときのクラッシュが修正されました。
- Windows で、アプリが Microsoft Store からダウンロードされた場合に、URL からアプリを起動するために使用されるレジストリ キーが作成されないバグが修正されました。
- Windows で、ウィンドウのサイズを変更するときのクラッシュが修正されました。
- Android で、Google Play ストアにアクセスしないでデバイス上でサイン インするときのクラッシュが修正されました。
- Android 32 ビット デバイスで、[標準] マップ タイプが表示されるようになりました。
- Android 32 ビット デバイスで、複数の単一選択肢ドロップダウン リストが同時に展開されるときクラッシュが修正されました。

2020 年 8 月 6 日のアップデート

Survey123 Connect (バージョン 3.10.239)

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しい file の質問が追加されました。これにより、多数のファイル タイプを添付ファイルとして調査の回答

に添付できます。

- **[multiline]** 表示設定タイプを画像およびファイルの質問に適用して、1つの質問に対して複数の添付ファイルを送信できるようになりました。
- 新しい `pulldata("@property", "mode")` 関数を使用して、ユーザーが回答を作成しているか、既存の回答を編集しているか、または送信済みの回答を表示しているかに応じて調査の動作を変更できます。
- 調査の **[設定]** タブで、大幅な UI の見直しが行われました。
- 調査作成者は、ユーザーが回答を送信する前に調査を最新バージョンに更新するよう要求できるようになりました。
- **[設定]** タブの新しい **[オプション]** ページに、新しい調査が収集されないようにするオプションと、**[受信トレイ]** および **[送信済み]** ボックス内でユーザーが実行できる操作を制御するオプションがあります。
- 診断ログ ファイルを電子メールで送信して、他のアプリを通して共有できるようになりました。
- インストールおよびアンインストールのポップアップなしで、サイレント インストールを実行できるようになりました。

注意:

この動作が存在するようにするには、サイレント インストールおよびアンインストールのスクリプトを最新バージョンに更新します。


- スキーマがテーブルのみの場合に Survey123 Connect で新しいフィーチャ レイヤーが強制的に作成される問題を修正しました。
- 各種不具合の修正と機能強化

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.10.323)

下記は、修正および改善された機能です。

- ベースマップのサポートが改善され、オフライン マップ パッケージと Web マップが追加のタイプとしてサポートに含まれました。
- ベースマップ選択メニューは、一連のデフォルトではなく、組織のデフォルトのベースマップ グループによって設定されます。
- 新しい調査の並べ替えオプションがあります。
- **[受信トレイ]**、**[ドラフト]** ボックス、**[送信箱]**、および **[送信済み]** ボックスの **[マップ]** タブが改善され、調査にジオポイントの質問が存在しない場合でも **[マップ]** タブが常に表示されるようになりました。
- **[受信トレイ]** から調査をコピーできるようになりました。
- 調査フォルダーのリスト表示は、調査の各回答に距離と方向を表示するようになりました。
- Survey123 フィールド アプリは、Android および iOS でドメイン <https://survey123.arcgis.app/> を使用してアプリのリンクを通じて渡されるパラメーターを受け取ることができるようになりました。
- バーコード機能が個別の調査のコンテンツ ページに追加され、バーコードのスキャンにより特定の調査の回答をダウンロードして開くことができるようになりました。
- バーコードを介して AppStudio コンソールに診断ログを構成するオプションが追加されました。

- 診断ログ ファイルを電子メールで送信して、他のアプリを通して共有できるようになりました。
- GNSS データをファイルに記録できるようになりました。
- ファイルを位置情報サービス プロバイダーとして設定できるようになり、ファイルから NMEA 位置情報を直接読み込めるようになりました。
- URL 経由で [受信トレイ] 内の調査にアクセスできる機能や、既存の調査の回答を表示または編集モードで開く機能など、Survey123 の URL スキームにさまざまな改良が行われました。
- Survey123 URL スキーマの代替手段として、Survey123 アプリ リンクがサポートされるようになりました。これらの Survey123 リンクはコールバック パラメーターをサポートし、アプリがまだインストールされていない場合は Survey123 をインストールするように求めます。
- インストールおよびアンインストールのポップアップなしで、サイレント インストールを実行できるようになりました。

 **注意:**

この動作が存在するようにするには、サイレント インストールおよびアンインストールのスクリプトを最新バージョンに更新します。

- Android で、前面と背面のカメラを切り替えることができない問題を修正しました。
- AppConfig と portalURL プロパティのサポートが追加されました。
- 各種不具合の修正と機能強化

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- Survey123 フィーチャ レポートがサマリー セクションをサポートするようになりました。これは、選択されたレコードの数に関係なく、1 度だけ印刷されます。
- サンプルのフィーチャ レポート テンプレートを生成する際に、フィーチャ レポート、サマリー レポート、サマリー レポートとフィーチャ レポートの組み合わせの 3 つの選択肢が提供されるようになりました。
- 調査の回答数に基づいて結果を生成する集約関数がフィーチャ レポートでサポートされるようになりました。詳細については、「[フィーチャ レポート クエリ](#)」をご参照ください。
- 新しい Ranking 質問タイプが追加されました。この質問タイプでは、最高から最低までの一連の選択肢をランクづけできます。
- 画像およびファイル アップロードの質問に応じて複数のファイルを送信できるようになりました。
- 調査を設計しているときに、ローカルに保存された画像を使用できるようになりました。
- 管理者が組織内の調査を調査の作成者と同じレベルで管理できるようになりました。
- キーボード ナビゲーションのサポートが Survey123 Web アプリに追加されました。

 **注意:**

これは、新しいランキング質問タイプには適用されません。

- Survey123 Web アプリが `encodeURIComponent=true` パラメーターをサポートするようになりました。これは URL

をエンコードして、受信者が URL パラメーターを変更したり削除したりできないようにします。

- Webhooks が画像および繰り返しをサポートするようになりました。
- Webhooks が回答の編集時に完全な調査の回答の読み取りをサポートするようになりました。
- 各種不具合の修正と機能強化

2020 年 5 月 7 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.9.149)

Survey123 URL スキーマで、小数点のカンマが、使用しているすべてのロケールで許可されるようになりました。下記は、修正、追加された機能です。

- デバイスがフランス語ロケールのとき、ジオポイントが Workforce から場所に設定されない不具合が修正されました。
- フランス語ロケールで Arcade 式を使用すると、ArcGIS Collector が XY パラメーターを ArcGIS Survey123 に期待通りには渡さない不具合が修正されました。

2020 年 4 月 2 日の更新

注意:

Microsoft が 2020 年 1 月 14 日に延長サポートを終了したため、このリリース以降、Survey123 フィールド アプリと Survey123 Connect では Windows 7 をサポートしなくなりました。詳細については、[Windows 7 のサポート終了に関する Microsoft サポート文書](#)をご参照ください。

Survey123 Connect (バージョン 3.9.120)

下記は、修正および改善された機能です。

- 利用可能な調査の更新のワークフローが更新されました。
- select_multiple の質問で計算がサポートされるようになりました。
- PKI (Public Key Infrastructure) 認証を使用するポータルをサポートが追加されました。
- ポータルのサイン イン操作に対して、さまざまな UI と UX の改善が行われました。
- previewHeight パラメーターが追加され、フォーム内に表示されるときのカスタム画像サイズを定義できるようになりました。
- **week-number** の外観に関連する問題が修正されました。
- ArcGIS Online の **[Survey123 Connect で編集]** ボタンが機能しなかった不具合が修正されました。
- Z 対応フィーチャ サービスおよび有効化されるデフォルトの Z 値の公開に関する問題が修正されました。
- 各種不具合の修正と機能強化

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.9.148)

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しい更新が利用可能になったときに、調査の更新通知がギャラリー ページに表示されるようになりました。これらの調査を更新するには、ギャラリーで調査を選択します。または、通知を選択して、**[調査の更新]** ページ

に移動します。ギャラリー ページで画面を下にスライドさせると、利用可能な更新がある調査の数が更新されます。

- 新しい **[調査の更新]** ページが追加され、利用可能な更新があるダウンロード済み調査のリストのみが表示されます。
- **[調査のダウンロード]** ページは、更新済み調査が利用可能になるとユーザーに通知するようになり、一度にすべての調査を更新するボタンを表示するようになりました。
- **[調査のダウンロード]** ページのさまざまな UI が更新されました。
- **[設定]** メニューが更新され、サイン インとサインアウトの操作と情報が追加されました。
- PKI (Public Key Infrastructure) 認証を使用するポータルをサポートが追加されました。
- ポータルのサイン イン操作に対して、さまざまな UI と UX の改善が行われました。
- デバイスがオフラインになったときに予期せずにユーザーがサインアウトされる不具合が修正されました。
- アプリ内でボタンをダブルタップしても、繰り返しレコードの削除やジオサーチ完了後のジオポイントの移動といった予期しない動作が発生しなくなりました。
- iOS の Split View がサポートされるようになりました。
- % でエンコードされたフィールドを設定している URL パラメーターをフィールド アプリが受け入れない不具合が修正されました。
- 各種不具合の修正と機能強化。

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- 新しい Map の質問が追加されました。これにより、既存の GeoPoint の質問タイプが置き換えられ、ポイント、ライン、または形状のジオメトリとしての送信がサポートされます。
- フィーチャ レポートに名前を付けるときに調査の質問のコンテンツを参照できるようになりました。
- 新しい Web アプリ JavaScript API を利用して、Runtime レベルで Web アプリを操作できます。詳細については、[この GeoNet のブログ記事](#)をご参照ください。
- **[解析]** ページの **[表示設定]** パネルは **[ナビゲーション]** パネルになりました。特定の質問に移動したり、特定の質問を表示/非表示したりすることができます。
- **[データ]** ページと **[解析]** ページは URL を介して共有できるようになりました。
- ドラフト モードが追加され、後で送信できるように、回答データをユーザーのデバイスに保存できるようになりました。
- Web アプリのアクセシビリティが改善されました。
- 各種不具合の修正と機能強化

2020 年 1 月 21 日の更新

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- フィーチャ レポートが、クレジットを消費せずにレポート テンプレートをテストできるように、プレビュー モ

ードを含むようになりました。

- フィーチャ レポートが、出力形式として PDF をサポートするようになりました。
- フィーチャ レポート テンプレートで、utcOffset、selected、countSelected、および selectedAt を含む新しい条件式がサポートされるようになりました。詳細については、「[フィーチャ レポート テンプレート](#)」をご参照ください。
- フィーチャ レポート内の条件ステートメントによって、グループ、繰り返し、および繰り返しに含まれる個別の質問を非表示にできるようになりました。
- 大量の選択肢または長い選択肢のラベルで、バー チャートのラベルが改良されました。
- Survey123 Connect に設定されたジオポイントの質問のデフォルト ベースマップが、Survey123 Web アプリに適用されるようになりました。
- 関係者およびフィールド スタッフが、Survey123 Web アプリを使用して調査の回答を編集できるようになりました。
- 管理者ロールを持つユーザーは、コンテンツをパブリックに共有する機能を組織が無効化している場合でも、すべてのユーザーと調査を共有できるようになりました。
- 名前の値にカンマを含む単一の選択肢の回答がフィーチャ レポートに表示されないバグが修正されました。
- hide-input 表示設定を使用するジオポイントの質問が、同一の東距および北距の UTM 座標をレポートしなくなりました。
- Microsoft Edge および Internet Explorer 11 で、位置の取得が改善されました。
- 画像 URL のリンクを追加した後に、Survey123 Web デザイナーで調査の公開が失敗するバグが修正されました。
- メモの質問内の画像が、Web アプリの配置設定に従うようになりました。
- テキストの質問で Enter キーを押すとデバイスのカメラが開く場合があるバグが修正されました。
- Web アプリでの現在の時間の取得に伴う問題が修正されました。

2019 年 12 月 17 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.7.57) および Survey123 Connect (バージョン 3.7.62)

下記は、修正、追加された機能です。

- キャプチャした画像上に緯度経度の座標値が正しく表示されないウォーターマークの問題が修正されました。
- 調査がローカルにダウンロードされないと、Survey123 Connect に調査のアクション メニューは表示されなくなりました。

2019 年 12 月 5 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.7.56)

下記は、修正および改善された機能です。

- numbers と calculator の表示設定を使用する質問の新しい UI と入力コントロール。
- **[受信トレイ]** の検索フィルターが、メタデータ フィールドではなく、ユーザーが定義したフィールドのみを検

索するようになりました。

- 調査のバージョンが、調査の .xlsx ファイルの **[Settings]** シートで指定されている場合、調査の情報ページに表示されるようになりました。
- ジオトレースおよびジオシェープに対して、改善が行われました。
- **[標準]** マップ タイプを使用してベースマップを切り替えるときに、ベースマップのズーム レベルが維持されるようになりました。
- Juniper Geode 外部 GNSS デバイスのサポートが追加されました。
- 調査の送信時における **[ホストが見つかりません]** や **[サービス情報を取得しています]** のネットワーク エラーに関する問題が修正されました。
- numbers と calculator の表示設定を使用する質問で、デフォルトのデバイス キーボードが表示されなくなりました。
- numbers の表示設定を使用する質問で、次の質問に移動したときに値が保存されない問題が修正されました。
- **[受信トレイ]** に 1000 を超えるレコードが含まれるときのパフォーマンスが向上しました。
- 右から左に記述される言語で、座標の入力に負の値を入力しても機能するようになりました。
- すべての言語で、翻訳されていない文字列のインスタンスが修正されました。
- 各種不具合の修正、ローカリゼーションの修正、および改善

Survey123 Connect (バージョン 3.7.60)

下記は、修正および改善された機能です。

- 小数の質問で、**thousands-sep** の新しい表示設定タイプが追加されました。これにより、小数の質問で指定された数値に桁区切り記号が追加されます。詳細については、「[表示設定](#)」をご参照ください。
- table-list の表示設定を ArcGIS Enterprise に公開された調査に使用できるようになりました。
- すべての言語で、翻訳されていない文字列のインスタンスが修正されました。
- 各種不具合の修正と改善

Survey123 Web サイト

下記は、修正および改善された機能です。

- ArcGIS Enterprise で、繰り返しのある調査の回答を Web アプリから送信しようとする、**[未定義のプロパティ '0' を読み取れません]** というエラーが発生して送信できない不具合が修正されました。
- ArcGIS Enterprise で、フィーチャ サービスから作成された関連テーブルがある調査の回答を Web アプリで編集しようとする、**[送信できませんでした - NULL のプロパティ 'z' を設定できません]** というエラーが発生して編集できない不具合が修正されました。

2019 年 10 月 17 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.6.157、Android および iOS のみ)

下記は、修正、追加された機能です。

- iOS 13 の一部の言語で文字化けが発生しないようになりました。

- iOS 13 で日本語キーボードが機能しなくなる不具合が修正されました。
- Android で画像ギャラリーを並べ替えても、画像が不規則な順序で表示されることがなくなりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 調査にジオポイントの質問がない場合や、既存のジオポイントの質問に対する回答がない場合に、無効なジオメトリが送信されなくなりました。
- Web デザイナーで、32 文字を超える選択肢名が含まれる調査が保存できない不具合が修正されました。

2019 年 9 月 26 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.6.153)

下記は、修正、追加された機能です。

- 現時点で関連性のないフィールドにデフォルト値が保存され、送信されるバグが修正されました。
- 繰り返しにおける初出のジオポイントの質問で、計算が無視されなくなりました。
- 親レイヤーの値を使用するジオポイントの計算が、最初の繰り返し以降に適用されないバグが修正されました。
- グループ内の非表示の質問と計算の質問には、グループに適用される関連する条件式が反映されるようになりました。
- メモや読み取り専用テキストの質問のデフォルト値が表示されない問題が修正されました。
- 入れ子構造になった繰り返しの計算により、アプリが空のレコードを返す問題が修正されました。
- 関連する質問において、pulldata() 条件式が動作しないさまざまな問題を修正しました。
- キーボードの **Tab** キーを使用すると、質問から質問に移動し、調査を自動的にスクロールできるようになりました。
- 入力フィールドで **Enter** キーを押すと、次の質問に進むようになりました。
- アプリ ウィンドウのサイズ変更時に、入力コントロールにフォーカスが維持されます。
- 連続フォーカスをサポートしない Android デバイスと Android 64 ビットで、バーコード スキャンが改善されました。
- ズーム、バーコード タイプ、フラッシュなど、バーコードの質問のカメラ設定を、各質問レベルで適用できるようになりました。
- ズームやフラッシュなど、画像の質問のカメラ設定を、各調査レベルで適用できるようになりました。
- ArcGIS Enterprise を使用時に、**[送信済み]** ボックスから繰り返しを含む調査をコピーしても、関連レコードが新しい親に移動しなくなりました。
- iOS のカメラの質問とバーコードの質問に伴う、カメラの向きに関する問題を修正しました。
- より多くのマップ タイプをサポートできるよう、**[標準]** マップ タイプのサポートがベータ機能として追加されました。これについて詳しくは (サポートされるマップ タイプのリストも含む)、[クイック リファレンス](#)をご参照ください。

Survey123 Connect (バージョン 3.6.137)

下記は、修正、追加された機能です。

- 新しい質問タイプ (ジオトレースとジオシェープ) が追加されました。この質問タイプでは、ライン フィーチャ サービスとポリゴン フィーチャ サービスを作成でき、既存のポリライン フィーチャ サービスとポリゴン フィーチャ サービスから調査を作成できます。詳細については、「[ジオトレースとジオシェープ](#)」をご参照ください。
- Survey123 Connect 調査の [設定] タブでは、[リンクされたコンテンツ] タブを使用して ArcGIS Online や ArcGIS Enterprise に保存されたマップを調査に関連付けられるようになりました。
- 新しい質問タイプの [range] が追加されました。スライダーによって、数値の設定範囲を選択できます。詳細については、「[範囲](#)」をご参照ください。
- [table-list] の新しい表示設定タイプがグループに追加されました。この表示設定タイプは、テーブル形式の同じ選択肢リストを使用する、グループ内のすべての単一選択肢の質問を書式設定します。詳細については、「[表示設定](#)」をご参照ください。
- 単一選択肢と複数選択肢の質問に対し、新しい表示設定タイプ [image-map] が追加されました。これにより、選択可能な地域を選択肢として示す、SVG 画像が添付で提供されます。詳細については、「[表示設定](#)」をご参照ください。
- 非表示、計算、メモ、読み取り専用テキストの質問に、関連する条件式を適用できるようになりました。
- 単一選択肢および複数選択肢の質問の選択肢ラベルに、ハイパーリンクを適用できるようになりました。
- theme-grid の調査スタイルが、より多くの表示設定タイプをサポートするようになりました。
- 複数行の表示設定を持つテキストの質問では、高さの制御のサポートに制限があります。詳細については、「[表示設定](#)」をご参照ください。
- 署名の表示設定を含むマップの質問と画像の高さを、**bind::esri:style** 列で設定できるようになりました。詳細については、「[Esri カスタム列](#)」をご参照ください。
- 独自のベゼルをフォームのプレビューに追加する機能が追加されました。詳細については、「[調査のプレビュー](#)」をご参照ください。
- より多くのマップ タイプをサポートできるよう、[標準] マップ タイプのサポートがベータ機能として追加されました。これについて詳しくは (サポートされるマップ タイプのリストも含む)、「[調査にマップを含める](#)」をご参照ください。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- デスクトップ ブラウザーの使用時に、マップの質問を Web アプリで拡大できるようになりました。
- Web アプリのジオポイントの質問で、これまでの pan-to-locate ではなく click-to-locate を使用して位置を選択できるようになりました。
- 新しい ?mode=view&objectId= URL パラメーターを実行し、フィーチャ サービスですでに送信済みのレコードを Web アプリを使用して開けるようになりました。
- Web デザイナーの複数選択肢の質問で、選択肢名を手動で設定できるようになりました。
- Web デザイナーで設定された選択肢名で、ラテン文字以外もサポート可能になりました。

- フィーチャ レポートで、小数の回答を指定の桁数に丸められるようになりました。
- フィーチャ レポートは、ジオポイントの質問の高度値を抽出できるようになりました。
- フィーチャ レポートは、指定した空間参照で緯度と経度の値を抽出できるようになりました。
- さまざまなバグ修正が行われました。

2019 年 8 月 8 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.5.177)

下記は、修正、追加された機能です。

- ArcGIS Enterprise 10.7 以前のバージョンを使用しているときに、調査をダウンロードしてもハングアップしなくなりました。
- Survey123 Web サイトで提供されている URL を共有する調査から開いた場合に、調査をダウンロードしてもハングアップしなくなりました。
- 32 ビット Android デバイスで、TPK ファイルがベースマップ メニューに表示されるようになりました。

2019 年 8 月 1 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.5.176) および Survey123 Connect (バージョン 3.5.166)

下記は、修正、追加された機能です。

- 日付および日時の質問で、today() の計算がその日の午前 0 時ではなく午後 0 時を返すようになりました。
- 日付の質問で、時間コンポーネントが含まれない場合に計算が機能しなかった不具合が修正されました。
- 繰り返し内のジオポイントの質問で、計算が最初の繰り返しで異常終了しなくなりました。
- 名前がないメモの質問が pulldata() 関数からの入力を受け入れるようになりました。
- 日付を文字列として含む非表示の質問がある調査で、デフォルトのインスタンス名によって [受信トレイ] がハングアップしなくなりました。
- 必須でない制限付きの質問で、直後に事前設定された非表示フィールドがある場合に、整合チェックが異常終了しなくなりました。
- アラビア語の複数ページの調査で、正しい総ページ数が表示されるようになりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 組織のクレジット数が負の場合に、フィーチャ レポートの生成が異常終了しなくなりました。
- ArcGIS Enterprise 環境でフィーチャ レポートを生成しようとしたとき、ArcGIS Online サブスクリプションがアクティブでないというエラーで異常終了しなくなりました。
- Survey123 Connect から公開された調査のフォーム アイテムを ArcGIS Online のアイテム詳細ページから開いても、リダイレクトループにならなくなりました。

2019 年 6 月 27 日の更新

⚠ 注意:

これは、Android x86 をサポートする最後のバージョンの Survey123 フィールド アプリであり、Android バージョン 4.4 をサポートする最後のバージョンであるので注意してください。次のリリース以降、サポートされる Android の最下位バージョンは、32 ビットおよび 64 ビット ARM プロセッサの 5.0 になります。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.5.164)

下記は、修正、追加された機能です。

- Windows および Android の 64 ビットバージョンが使用できるようになりました。
- ウクライナ語のサポートが追加されました。
- アプリのすべてのエレメントで、重要な UI の更新がありました。
- 調査を編集して [受信トレイ] または [送信済み] ボックスから送信するときに、Webhook をトリガーできるようになりました。
- ベースマップの最大許容ズーム レベルが拡大されました。
- 繰り返しが関連なしに設定されている場合に、空の繰り返しレコードが送信されなくなりました。
- 必須の条件式が **begin repeat** の質問タイプで機能しない不具合が修正されました。
- グループおよび繰り返し内の質問が、関連する条件式を正しく継承するようになりました。
- 後続の繰り返しで制限が正しく整合チェックされない不具合が修正されました。
- デバイスの言語リストに複数の言語がある場合に、Android 7 以降での翻訳上の問題が修正されました。
- Android デバイスで日本語キーボードを使用できない問題が解決されました。
- さまざまなその他のバグ修正および機能強化が行われました。

Survey123 Connect (バージョン 3.5.157)

下記は、修正、追加された機能です。

- Windows 64 ビットバージョンが使用できるようになりました。
- ウクライナ語のサポートが追加されました。
- アプリのすべてのエレメントで、重要な UI の更新がありました。
- **ウォーターマーク** を画像の質問に適用できるようになりました。
- **theme-grid** という新しい調査スタイルが追加されました。このスタイルを使用すると、調査内のグループをグリッドとして表示して、複数の質問を同じ行に配置できます。詳細については、「[表示設定](#)」をご参照ください。
- 調査のプレビューが拡張され、解像度とデバイス タイプが選択可能になりました。
- 画像サイズの設定オプションが、写真の最長エッジのピクセル数を表示するようになりました。**1920 ピクセル** という新しいサイズ設定も追加されました。
- 整数の質問で long integer の値の全範囲 (-2,147,483,467 ~ 2,147,483,467) がサポートされるようになりました。

- 繰り返し内部の sum および count 集約関数が改善されました。
- さまざまなその他のバグ修正および機能強化が行われました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- フィーチャ レポートが完成しました。
- 手動またはスケジュールで、[調査の回答の受け付けをオープンまたはクローズ](#)できるようになりました。
- 同じ調査に対する[複数の送信](#)を防止できるようになりました。
- 繰り返し内の質問を [\[データ\]](#) タブで表示できるようになりました。

2019 年 5 月 23 日の更新

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 調査を編集したときに、ユーザーが Webhook をトリガーできるようになりました。この機能は、Survey123 Web サイト、Microsoft Flow、および新しい Survey123 の Integromat 統合で Webhook が設定されている場合に利用できます。
- 他のユーザーが作成して共有されている調査をプレビューおよび保存できるようになりました。
- ユーザーが Survey123 Web サイトで、サインアウトせずにアカウントを切り替えることができるようになりました。
- フィーチャ レポートがデフォルトで画像の添付ファイルのサムネイルを返すようになり、レポート ファイルのサイズが削減されました。
- 各種 UI の更新

2019 年 2 月 26 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.3.64)

下記は、修正、追加された機能です。

- [GNSS 外部受信機](#)のサポート機能が完成しました。
- タイル パッケージで、より高いズーム レベルがサポートされるようになりました。
- タイル パッケージの最大範囲を超えて拡大できるようになりました。
- スピナーの表示設定タイプのボタンが空の値で機能しなくなるバグが修正されました。
- 特定の言語での、日付の質問の表示に伴う問題が修正されました。
- アプリは、非 Windows デバイス上で IWA ポータルを使用して構成された場合に、すべてのその後のサインインの試みで、アプリ セッションの開始時に入力される同じサインインの認証情報を使用しなくなります。

Survey123 Connect (バージョン 3.3.51)

下記は、修正、追加された機能です。

- 画像の質問で、[spike-point-to-point](#) の新しい表示設定タイプが追加されました。この表示設定タイプでは、

ikeGPS が開発した iOS および Android 用の Spike レーザー計測ソリューションを使用するポイント間計測を使用できます。詳細については、「[メディア](#)」をご参照ください。

- ジオポイントの質問で、**symbol** の新しい表示設定タイプが追加されました。この表示設定タイプでは、カスタム マーカー画像をマップ ビューで使用できます。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- **[日付/時間]** が新しい質問タイプとして追加されました。
- 既存のテーマを別の調査からインポートするためのサポートが追加されました。
- **[データ]** ページが、Web デザイナーから公開された調査に対する回答を編集する機能を提供するようになりました。
- **[解析]** ページが、テキストの質問に対する元の回答を表示することをサポートするようになりました。
- 調査の送信時に表示されるありがとうございました画面を、Survey123 Connect で作成された調査用の Web デザイナーで編集できるようになりました。
- 質問および選択肢の自動命名が改善されました。
- さまざまなバグ修正が行われました。

2019 年 1 月 31 日の更新

サポートされているオペレーティング システムの最下位バージョンが更新されました。更新された変更内容については、「[システム要件](#)」をご参照ください。

Survey123 フィールド アプリ (バージョン 3.2.265)

下記は、修正、追加された機能です。

- **[位置情報の設定]** ページのデザインが一新されました。
- 入れ子の繰り返しで空のレコードが重複しなくなりました。
- バージョン 7.0 以上が動作する Android デバイスで、SSL ハンドシェイク エラーが生成されなくなりました。
- 繰り返しの最初以外のレコードで、関連する条件式によって非表示にされているジオポイント、画像、単一の選択肢の質問が、**[送信済み]** ボックスで再び開いた場合に空でなくなりました。
- 繰り返し内の備考を参照する関連する条件式が、**[ドラフト]** ボックス、**[送信済み]** ボックス、または **[受信トレイ]** から開いたときに有効になるようになりました。
- 繰り返しの最初以外のレコードで、その繰り返し内の質問に適用される関連する条件式を含むデータが表示されるようになりました。
- サムネイルやメディアの添付ファイルなどのアプリ フォルダー画像が、Android のデフォルト ギャラリーに表示されなくなりました。
- さまざまなローカリゼーションおよびインターナショナル化のバグの修正や機能拡張が適用されました。

Survey123 Connect (ビルド 3.2.196)

下記は、修正、追加された機能です。

- Survey123 Web サイトで編集された設定が、Survey123 Connect で調査を再公開しても上書きされなくなりました。
- さまざまなローカリゼーションおよびインターナショナル化のバグの修正や機能拡張が適用されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- Web アプリに対して新しい URL パラメーターが提供されています。hide パラメーターは、指定された値に応じて、調査の特定の表示エレメントを非表示にします。hide パラメーターは現在、navbar、header、description、footer、theme の値をサポートしています。
- 元のフィーチャ サービス内のすべてのフィールドがレポート テンプレート内で使用できるようになりました。
- レポート テンプレートをアップロードする前に、構文をチェックできるようになりました。
- Web デザイナーが、複数ページの調査の作成をサポートできるようになりました。
- 調査を IWA ポータルに公開できるようになりました。
- **[解析]** ページ内のワードクラウドが、一般的な単語を無視するオプションを提供するようになりました。
- レポート テンプレート内の同じマップで mapSettings と size を使用すると、フィーチャ レポート内にマップを表示できるようになりました。
- さまざまなバグ修正が行われました。

2018 年 11 月 1 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 3.1.158)

下記は、修正、追加された機能です。

- **[設定]** ページのデザインが一新されました。
- **[設定]** ページでアプリのフォントを変更できるようになりました。
- アプリが位置情報の取得に失敗した場合に、その旨がユーザーに通知されるようになりました。
- **[設定]** ページに**[位置情報]** タブが導入されました。このタブでは、アプリが位置情報の取得を試行するタイミングを変更したり、位置情報の取得に失敗した場合の通知方法を設定したりすることができます。
- 繰り返しを含む既存の調査を編集する場合の**繰り返し回数**の処理が改善されました。
- ジオポイントの質問で **Survey123 の URL スキーマ**が高度に対応できるようになりました。
- ジオサーチで、使用可能なすべてのジオコーダーを検索できるようになりました。
- テキストの質問で**文字数**が表示されるようになりました。
- **[送信済み]** ボックスを空にするときに、確認メッセージが表示されるようになりました。
- 繰り返しに含まれる計算自体で、関連レコードが作成されなくなりました。

- カスケード選択にデフォルト値を適用した場合に、適切な選択フィルターが後続の質問に適用されるようになりました。
- 1つの時間フィールドに計算を適用した場合に、それ以外の時間フィールドでデフォルト値が無視されなくなりました。
- Android デバイスから画像を選択する場合、DCIM フォルダー内のサブフォルダーを検索できるようになりました。
- Android でテキスト入力の質問に対して、デフォルトで予測テキストが無効になりました。
- 各種不具合の修正と改善

Survey123 Connect (ビルド 3.1.126)

下記は、修正、追加された機能です。

- テキスト入力の質問で [predictivetext](#) および [nopredictivetext](#) 表示設定タイプ を新たに使用できるようになりました。これらの表示設定タイプは、Android および iOS デバイスで予測テキストを有効または無効にし、システムのデフォルトよりも優先されます。
- 新しい **[bind::esri:warning]** 列を使用して、制限が満たされない場合に警告を表示できるようになりました。警告が表示されても、回答は送信できます。
- フィールドのコンテンツを [メモ](#)、[ラベル](#)、[ヒント](#)に挿入できるようになりました。
- **autocomplete** の表示設定を使用する単一の選択肢の質問が、計算をサポートするようになりました。
- [場所の品質の条件式](#)がサポートされるようになりました。
- 各種不具合の修正と改善

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- ユーザーが Web デザイナーで個人的な調査テーマを構成できるようになりました。
- ユーザーが Web デザイナーで複数選択肢の質問を作成する場合、選択される選択肢の最小数と最大数を設定できるようになりました。
- **[解析]** ページでクエリを使用できるようになりました。
- ユーザーが **[解析]** ページでマップビューのベースマップを変更できるようになりました。
- 表示設定が、複数のセッション間で **[解析]** ページに保存されるようになりました。
- 画像の質問が、デスクトップ デバイス上の Web カメラの使用をサポートするようになりました。
- 複数行テキストの質問で文字カウントが提供され、入力内容が最大フィールド サイズを超えると、ユーザーにメッセージが表示されるようになりました。
- Survey123 Connect で設定された背景が、Web アプリで表示されるようになりました。
- レポート テンプレートが、調査に存在しないフィーチャ レイヤーのフィールドにアクセスできるようになりました。
- 無効なフィールド名または式が原因で印刷用レポート テンプレートに障害が発生した場合、エラーが表示されるようになりました。

- フィーチャ レポートのマップと画像の品質が向上しました。

2018 年 8 月 30 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 3.0.149)

下記は、修正、追加された機能です。

- ジオサーチ オプションが入力時に邪魔にならないようになりました。
- 単一の選択肢の質問に対する **autocomplete** の表示設定のさまざまなバグが修正されました。
- ユーザーがフィーチャを追加できないフィーチャ サービスに送信しようとしたときのエラーの説明が追加されました。
- URL でフォームを開くときに、計算によって設定されたジオポイントがデバイスの位置によってオーバーライドされなくなりました。
- [受信トレイ]、[ドラフト]、または [送信済み] ボックスから開いたときに、調査の回答で最初の繰り返しのデータが表示されないバグが修正されました。

Survey123 Connect (ビルド 3.0.142)

下記は、修正、追加された機能です。

- 言語とロケール コードの両方を使用した、更新された XLSForm の言語表記のサポートが追加されました (例: label::Español (es))。ロケール コードのみの指定は、引き続きサポートされています。
- ArcGIS Enterprise のホスト フィーチャ サービスに公開された調査が attachmentsByUploadID をサポートするようになりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- クエリ機能が無効なフィーチャ サービスに添付ファイルを指定した場合に、Web アプリの調査の送信が異常終了しなくなりました。
- 不正な utcOffset 値を使用したレポート テンプレートのインスタンスが修正されました。

2018 年 8 月 16 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 3.0.144)

下記は、修正、追加された機能です。

- 無制限の画像サイズを送信できるように設定された調査で、画像サイズが 1920 x 1080 の解像度に制限されなくなりました。
- 長い調査のタイトルが正常に折り返されるようになりました。
- 同じ質問を参照する後続の質問に対して、再計算ボタンが機能しなかったバグが修正されました。
- [受信トレイ]、[ドラフト]、または [送信済み] ボックスを通じて開かれた調査の計算が、参照先の値が更新された場合に更新されるようになりました。
- 存在しないフィーチャ レイヤーに回答を送信しようとする、エラー メッセージが表示されるようになりました。

た。

- ジオポイントの質問でマップを移動するときに、水平精度の値が消去されるようになりました。
- iOS でタイ語またはアラビア語を使用しながらオーディオを録音しても、アプリが強制終了しなくなりました。

Survey123 Connect (ビルド 3.0.138)

下記は、修正、追加された機能です。

- Web 上で作成された調査をダウンロードした後に、JPEG のサムネイルが空白として表示されなくなりました。
- NULL のジオポイントが 1 つある調査を公開できないバグが修正されました。

2018 年 7 月 31 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 3.0.134)

下記は、修正、追加された機能です。

- 添付ファイルがあるパブリックな調査を送信するときに、サービスの権限のために送信できない場合は、エラーメッセージが表示されるようになりました。
- ジオポイントの回答が文字列に変換されないバグが修正されました。
- Android でアプリがサイン インに失敗するさまざまなバグが修正されました。

Survey123 Connect (ビルド 3.0.128)

下記は、修正、追加された機能です。

- Windows で開かないサイン インのインスタンスが修正されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- ArcGIS Online の Map Viewer Classic を通じて追加された添付ファイルを含むレポートの印刷が正常に動作するようになりました。ただし、添付ファイルは含まれません。
- ArcGIS Enterprise で添付ファイルの質問を含むレポートの印刷が正常に動作するようになりました。ただし、添付ファイルは含まれません。
- 大きな画像を含むレポートを印刷できるようになりました。これらの画像は、サムネイルとして表示されます。
- 繰り返し数が 0 の場合に、繰り返し数を呼び出すレポートの印刷が失敗するバグが修正されました。
- Web アプリ内でアイテムをドラッグしてからプレビューしたときに、質問の順番が間違っ表示されなくなりました。
- 調査に関連するルールが含まれ、スキーマの変更時に関連フィールドの名前が変更されている場合、調査の公開が異常終了しなくなりました。
- Web アプリでジオポイントの質問を設定するとき、[デフォルト マップ] ドロップダウン リストに重複するマップが表示されなくなりました。

2018 年 7 月 5 日の更新

注意:

今回の更新で、Portal for ArcGIS 10.3.1 のサポートは終了しました。サポートされているオペレーティング システムの最下位バージョンも更新されました。更新された最新の変更内容については、「[システム要件](#)」をご参照ください。

サポートされなくなったオペレーティング システムまたはポータルを使用するユーザーが引き続き Survey123 を使用できるように、Survey123 Classic および Survey123 Connect Classic と呼ばれるバージョンの Survey123 が使用できるようになりました。これらのバージョンは、サポートされているバージョンと機能が Survey123 2.8 と同じで、今後は更新されず、Android、Windows、Mac OS、Linux で使用可能です。最新バージョンの Survey123 フィールド アプリおよび Survey123 Connect は 3.0 に更新され、今後継続的に更新されます。

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 3.0.132)

下記は、修正、追加された機能です。

- repeat 質問の入れ子がサポートされました。
- ジオポイントの質問でジオサーチを使用できるようになりました。
- 時刻および日時の質問の UI が更新され、時間表示にテキスト入力を使用できるようになりました。
- 画像の質問に対する **annotate** の表示設定で、マップのスナップショットを使用してスケッチできるようになりました。
- 各種バグ修正。

Survey123 Connect (ビルド 3.0.127)

下記は、修正、追加された機能です。

- `pulldata("@geopoint")` 関数が、さまざまな形式の座標を抽出する機能をサポートするようになりました。
- **[readonly]** と **[required]** の列が、条件式をサポートするようになりました。
- **[Survey123 Web サイトで管理]** メニュー オプションが、Survey123 Connect で指定されたポータル設定を使用するようになりました。
- **distress** の表示設定を使用する整数の質問がある繰り返しで、値が正常に削除されるようになりました。
- Survey123 Web サイトで作成され、JPEG サムネイルを使用する調査は、ダウンロード時に空白のサムネイルを使用して表示されなくなりました。
- 調査を IWA ポータルに公開できるようになりました。
- その他の各種バグ修正。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- Webhook がサポートされるようになりました。[設定] ページの新しい **[Webhook]** タブを使用して、Webhook プロバイダーのペイロードを設定できます。
- **[グループ]** が新しい質問タイプとして追加されました。

- バッチ レポート印刷がサポートされるようになりました。
- レポート テンプレートで条件ステートメントがサポートされるようになりました。
- [データ] タブにリストされる回答を、特定のフィールド (複数可) のコンテンツでフィルタリングできるようになりました。

2018 年 5 月 25 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 2.8.2)

下記は、修正、追加された機能です。

- パブリックな調査のダウンロードを妨げるバグが修正されました。
- 自動更新が適用された Web マップに新しいフィーチャが表示されないバグが修正されました。
- フィールド アプリが特定のオフライン LAN 構成に接続した場合にオフラインのように動作する Windows コンピューター上のバグが修正されました。

Survey123 Connect (ビルド 2.8.4)

下記は、修正、追加された機能です。

- Survey123 Web サイトを通して Survey123 Connect の調査ライブラリにすでに存在している調査を開くと、複製が作成されるのではなく、目的どおりに既存の調査が削除されるようになりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- Web アプリでバージョンのロックがサポートされ、調査の作成者は、最新バージョンではなく公開されたときのバージョンに調査の機能をロックできるようになりました。
- [単一選択肢グリッド] が新しい質問タイプとして追加されました。
- [解析] タブに画像の質問のギャラリーが追加されました。
- バーコードの質問の回答が、[データ] タブで個別の回答を表示しているときに表示されるようになりました。
- レポート テンプレートが調査の回答に応じてコンテンツを表示または非表示にする条件エレメントをサポートするようになりました。
- [調査] ページから Survey123 Connect で調査を開くことができるようになりました。
- Web 上で調査を設計しているときに、インスタンス名を設定できるようになりました。
- 調査の送信後の画面で、HTML タグがサポートされるようになりました。
- 調査の所有者は、調査結果の時に関係者が表示できる定数を選択できるようになりました。
- 調査または調査結果を共有するための短縮 URL が提供されるようになりました。

2018 年 4 月 3 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 2.7.98)

下記は、修正、追加された機能です。

- **select_one** の質問で計算ができるようになりました。

- デバイスの UTC タイム ゾーン オフセットの取得と記録に関数 `pulldata("@property", 'utcoffset')` を使用できるようになりました。
- [受信トレイ]、[送信箱]、および [送信済み] フォルダーからローカル タイル パッケージにアクセスできるようになりました。
- 画像の質問に対する **annotate** の表示設定から既存のファイルにアクセスしてアノテーションを実行できるようになりました。
- 入力マスクはその質問を必須にしなくなりました。
- 新しいレコードを追加した場合に、アプリが繰り返しの先頭に戻るようになりました。
- NULL フィールド タイプを含む質問が受信トレイから読み込まれた場合に、再計算が行われるようになりました。
- repeat 内の NULL のジオポイントが正常に機能するようになりました。
- フェデレーションされていないパブリック フィーチャ サービスへの送信時に、異常終了しなくなりました。
- 繰り返し内で **select_one** の質問に対して `autocomplete` の表示設定を使用した場合に、その繰り返し内のデフォルト値で停止しなくなりました。
- 計算が適切に表示されていないテキストの質問が送信されなくなりました。
- 送信に失敗した場合に、空白の必須の質問に戻ってアプリが停止する不具合が修正されました。
- repeat に含まれる **integer**、**decimal**、**geopoint**、および **dateTime** の質問に必須の値が正常に機能するようになりました。
- 1 回の調査で `pulldata(@exif)` を複数回呼び出しても、アプリがフリーズしなくなりました。
- 日時の質問と複数のページにわたる調査に使用される UI が改善されました。
- iOS で、コピーされた送信済みの調査から添付ファイルを削除すると、もう一度コピーした際に元の添付ファイルが読み込めなくなる問題が解決しました。

Survey123 Connect (ビルド 2.7.72)

下記は、修正、追加された機能です。

- Web フォームが関連付いていないアプリ専用の調査を公開できるようになりました。つまり、大規模な選択肢リストを含む調査を問題なく公開することができます。
- `arcgis-survey123connect://` URL スキーマを使用して Survey123 Connect を起動できるようになりました。`portalUrl` と `itemId` をパラメーターとして使用できるようになりました。
- Survey123 Connect で作成されたフィーチャ サービスで `displayField` プロパティが定義されるようになりました。これにより、これらのフィーチャ サービスを Web アプリケーションで編集することができます。
- カスケード選択での最初の選択内容の入力に対する整合チェックが目的どおりに動作するようになりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- [署名] が新しい質問タイプとして追加されました。
- Likert および評価の質問を該当するルールのトリガーとして使用できるようになりました。

- ドロップダウンの質問に自動入力機能が追加されました。
- Survey123 Connect に適用された **horizontal-compact** 表示設定タイプを単一の選択肢の質問と複数の選択肢の質問に使用できるようになりました。
- 日付の質問で month-year 表示設定と year-only 表示設定を使用できるようになりました。
- ジオポイントの質問の hide-input 表示設定タイプで、読み取り専用の座標値のみが表示されるようになりました。
- ジオポイントの質問で、デフォルトの Esri World Geocoding Service の代わりに、組織で設定したエンコードサービスを使用できるようになりました。
- ジオポイントの質問で pulldata 機能を使用できるようになりました。
- 印刷テンプレートで、さまざまなパラメーターを使用して同じ画像またはジオポイントに対する回答の異なるインスタンスを 1 つのレポート内に印刷できるようになりました。
- 印刷テンプレートに関するエラー レポートが改善されました。
- 複数の選択肢の質問で、32 文字を超える選択肢を使用できるようになりました。
- Internet Explorer 11 を使用したときのバグが修正され、パフォーマンスが改善されました。
- 小数の質問がドットを小数点として受け入れないバグが修正されました。
- 空の質問ラベルを含む調査を公開した場合に生じるさまざまな UI バグが修正されました。

2018 年 2 月 27 日の更新

Survey123 Connect (ビルド 2.6.6) および Survey123 フィールド アプリ (ビルド 2.6.9)

下記は、修正、追加された機能です。

- 画像の質問で、**spike** と **spike-full-measure** の新しい表示設定タイプが追加されました。これらの表示設定タイプは、ikeGPS が開発した iOS および Android 用の Spike レーザー計測ソリューションと調査を統合して、Spike で撮影した写真を調査に使用して、画像内に保存された値を抽出できるようにします。この機能の詳細については、「[表示設定](#)」、「[メディア](#)」、および「[Spike を使用したオブジェクトの計測](#)」をご参照ください。

2018 年 1 月 23 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 2.6.7)

下記は、修正、追加された機能です。

- 受信トレイを更新したり調査の送信済みボックスをクリアしても、受信トレイ/その他の調査の送信済みボックス内にあるすべての回答は削除されなくなりました。
- 日時の質問のインターフェイスが改善されました。
- 更新ボタンによって、now() の計算がある時刻の質問を再計算できるようになりました。
- カメラのフラッシュがサポートされるようになりました。
- バーコード スキャンで、カメラにズーム機能が追加されました。
- 調査が **[repeat_count]** の値を持つときに、調査をドラフトに保存できないバグが修正されました。
- **[受信トレイ]** のマップの **[ホーム]** ボタンが、目的どおりのホーム位置にズームするようになりました。

- Android の画像ギャラリーのインターフェイスとパフォーマンスが改善されました。

Survey123 Connect (ビルド 2.6.4)

下記は、修正、追加された機能です。

- Survey123 Connect は、マップのズーム レベルを設定しようとしたときに、強制終了しなくなりました。
- ほとんどの場合で、より小さい (<) シンボルを使用したときに、ラベルとヒントが切り捨てられなくなりました。例外については、「[既知の問題](#)」をご参照ください。
- パネルが非表示のときに、サイド パネルのリンクがアクティブにならなくなりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- Survey123 Connect と Survey123 Web デザイナーで作成された調査に入力するために、新しい統一された Web アプリが利用できるようになりました。
- 単一の選択肢、複数の選択肢、ドロップダウン、ジオポイント、画像の質問の UI/UX が改善されました。
- Web デザイナー内で作成された調査に対して、Web アプリで URL パラメーターがサポートされるようになりました。
- レポート テンプレートで、ジオポイントの質問に webmapItemID と mapScale パラメーターを使用できるようになりました。
- レポート テンプレートで、日付、時刻、日時の質問に utcOffset パラメーターを使用できるようになりました。
- レポート テンプレート内で、プレースホルダー フィールド名の前に @ や % などの特殊文字が必要なくなりました。これらの先行文字の使用は、引き続きサポートされています。
- [スキーマの変更] ダイアログ インターフェイスが改善されました。
- [データ] タブの [個々の回答] パネル内で、質問のラベルに対して HTML の書式設定が適用されるようになりました。
- 先頭のゼロは、[個々の回答] パネルでラベルから削除されなくなりました。
- [個々の回答] パネルのフィールドは、先頭のゼロが送信に含まれている場合に、空で表示されなくなりました。
- 写真の方向を示すマップ上のマーカの精度が改善されました (この情報が写真の EXIF データにある場合)。
- Global ID フィールドが重複することがなくなりました。
- 画面のコンテンツが表示内に収まらない場合に、調査の「ありがとうございました」画面をスクロールできるようになりました。
- select_multiple の質問に使用される HTML タグは、印刷されるレポートに表示されなくなりました。

2017 年 11 月 21 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 2.5.44)

下記は、修正、追加された機能です。

- ギャラリーの調査をタップしてホールドすると、即座に調査が開いてデータ収集できるようになりました。ギャラリーの調査をタップすると、調査のコンテンツ ページが開いて、新しい調査を収集するか既存の調査を編

集するかを選択できるようになりました。

- 無効な証明書または信頼できない証明書でポータルに接続しても、接続オプションが提供されなくなりました。
- 読み取り専用の質問とメモの質問を [受信トレイ] に設定できるようになりました。
- R1 Trimble GNSS Bluetooth 受信機の使用時に、位置のソースが閉じるエラーにつながる問題が修正されました。
- 画像の質問のカメラ インターフェイスにズーム機能が追加されました。
- バー コード スキャンにさまざまな改善が行われました。
- 特定の iOS デバイスで自撮りのカメラ フィードがさかさまに表示されるというバグが修正されました。
- Linux でのオーディオ記録のパフォーマンスが改善されました。
- now() 関数を使用する dateTime 質問をクリアして再計算すると、フォームが最初に読み込まれたときの日時ではなく現在の日時に値が更新されるようになりました。

Survey123 Connect (ビルド 2.5.44)

下記は、修正、追加された機能です。

- ほとんどの場合に、調査に新しいフィールドを追加するときに、フィーチャ サービスを再作成する必要がなくなりました。
- 名前のあるメモの質問に、フィーチャ サービスで作成されたフィールドが設定されるようになりました。
- 調査の [送信済み] ボックスを無効にするオプションが追加されました。これにより、調査のコピーがフィールド アプリ ユーザーのデバイスに保存されなくなります。
- 調査ギャラリーのコミュニティ パネルに、公式の Survey123 Twitter フィードが表示されるようになりました。
- 無効な証明書または信頼できない証明書でポータルに接続しても、接続オプションが提供されなくなりました。
- Survey123 データを Oracle のジオデータベースにインポートするときに、予約済みキーワードが原因でエラーが発生することがなくなりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 調査の作成で、フィールド名と選択リスト値を変更する [スキーマの変更] オプションが表示されるようになりました。
- 入れ子状のグループと繰り返しのグループが [データ] タブと [解析] タブでサポートされるようになりました。
- 画像のメタデータが印刷テンプレートで抽出できるようになりました。
- [データ] ページの UI のデザインが変更されました。
 - ユーザーがオーディオの質問の回答を再生できるようになりました。
 - 画像を表示するときに、その他のメタデータが表示されるようになりました。
- 調査を削除するときに、関連付けられたフィーチャ サービスを保持するためのオプションが表示されるようになりました。
- さまざまなバグ修正が行われました。

2017 年 9 月 22 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (2.4.71)

(修正済み) BUG-000106882: [受信トレイ] で検索オプションを使用すると、正しくない調査が開きます。

2017 年 9 月 19 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (2.4.70)

下記は、修正、追加された機能です。

- Survey123 フィールド アプリは、質問からフォーカスが切り替わるときに自動保存するようになりました。これにより、強制終了時に、途中まで記入した調査が保存されます。
- 調査内の repeat を編集できるようになりました。
 - デフォルトでは、repeat レコードは [受信トレイ] には回答と一緒にダウンロードされません。repeat レコードをダウンロードして編集する方法については、「[既存の調査データの編集の準備](#)」をご参照ください。
- **select_one** の質問を読み取り専用を設定できるようになりました。
- バーコードスキャンのパフォーマンスが向上しました。
- 画像の質問は、現在サポートされていないため、編集は無効化されるようになりました。
- お気に入りの回答として読み込まれた画像を削除すると、元の画像も削除されるバグが修正されました。
- repeat のデフォルト値に関する各種バグが修正されました。
- repeat の署名フィールドが、期待どおり添付ファイルとして表示されるようになりました。
- 署名が MacOS 上で不適切にトリミングされなくなりました。

Survey123 Connect (ビルド 2.4.60)

下記は、修正、追加された機能です。

- **audio** という新しい質問タイプが追加されました。これを使用すると、デバイスのマイクフォンを使用してオーディオクリップを記録し、添付ファイルとして送信できます。
- 画像の質問で、**draw** の新しい表示設定タイプが追加されました。この表示設定タイプを使用すると、画像を全画面のキャンバスに描画できます。
- 画像の質問で、**annotate** の新しい表示設定タイプが追加されました。これは **draw** と同じ全画面のキャンバスと、描画する画像を提供する追加機能を提供します。
- **[bind::esri:parameters]** 列がサポートされるようになり、Advanced テンプレートに追加されました。この列は、調査を編集するためのパラメーターの定義に使用される一連の値を受け入れます。
- **[bind::saveIncomplete]** 列がサポートされるようになり、Advanced テンプレートに追加されました。質問に true を入力すると、すべての質問後の調査の自動保存がオーバーライドされ、値が true の質問の後にのみ保存されるようになります。
- **[bind::esriFieldType]** 列が NULL のオプションをサポートするようになりました。つまり、新しいフィーチャサービスはこの質問のフィールドは含まれず、この質問に入力された値は調査の回答で送信されません。
- 調査ギャラリーのサイドパネルに Survey123 GeoNet グループのフィードが表示されるようになりました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 個々の回答の表示で、ネストしたグループと繰り返しをサポートされるようになりました。
- 送信後に調査を確認できるようになりました。
- フォームが各国語対応されました。
- Web 上で実行するとき、ジオポイントの質問で pulldata がサポートされるようになりました。
- Web 上で記入された調査の回答は、ジオポイントの質問が存在しない場合でも位置の送信を試みるようになりました。
- 位置が設定されている場合、ジオポイントの質問が、マップの設定で定義されたズーム レベルにズームするようになりました。ズーム レベルが定義されていない場合、質問は道路レベルにデフォルトで設定されます。
- マルチラインのテキストボックスが、新しい行が追加されたときに自動的に拡張するようになりました。
- [データ] ページに、調査データを Excel (.xlsx) および KML (.kml または .zip) 形式でエクスポートするオプションが追加されました。
- 以前は新しいページで開いていた Map Viewer Classic が、埋め込みで表示されるようになりました。
- 空白のテキスト ボックスがメモの質問の下に表示されなくなりました。
- 調査の名前が [調査情報の編集] ダイアログ ボックスで変更されたときに、ArcGIS Online のフォルダ名も変更されます。
- 各種バグ修正。

2017 年 7 月 20 日の更新

Survey123 Connect (ビルド 2.3.24)

下記は、修正、追加された機能です。

- globalid フィールドおよび objectid フィールドの管理に対する改善が行われました。これによって、シェープファイルから作成された可能性のあるフィーチャ サービスに関する調査の作成が可能になります。
- 調査が既存のフィーチャ サービスから公開される前に、Survey123 Connect は、XLSForm 調査ワークシート内のすべての名前値がターゲットのフィーチャ サービス内のフィールド名と正確に一致していることを検証します。
- 新しい調査を、新しいフィーチャ サービスを作成する ArcGIS Enterprise で公開する場合、Survey123 Connect では、XLSForm 内のフィールド名がすべて小文字である必要があります。
- 異なるラベルを持っている関連テーブルのリレーションシップに対するフィーチャ サービスのサポートが追加されました。
- ジオポイントの質問で、**hide-input** の新しい表示設定タイプが追加されました。この表示設定タイプは、Web アプリで表示されている場合のみ調査に適用され、座標入力を非表示にして、マップ インターフェイスのみを残します。
- さまざまなバグ修正が行われました。

Survey123 フィールド アプリ (2.3.29)

下記は、修正、追加された機能です。

- ラベリングおよび空間フィルターに対して、改善が行われました。
- バーコードスキャナーで読み取りが成功したときに、ビーブ音が鳴るようになりました。
- 新しいバージョンのアプリを iOS にインストールしたときに、起動時にデータベースが自動的に回復します。
- iOS デバイス上で横長表示で撮られた写真が、それ以上回転しなくなりました。
- 署名が iOS 上でトリミングされなくなりました。
- iOS 上の distress の表示設定タイプに伴う表示の問題が修正されました。
- テキスト縮尺スライダーが Android 上で表示されなくなるバグが修正されました。
- さまざまなその他のバグ修正が行われました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- Portal for ArcGIS 10.4 以降で、オンプレミスのインストールを使用できるようになりました。
- Survey123 Connect で作成された調査で [リンクのコピー] ボタンを使用して、Web ブラウザーで調査を完成させることができるようになりました。
- 既存のフィーチャ サービスから作成された調査結果の表示がサポートされるようになりました。
- 調査の外観をカスタマイズするために、制限付き HTML がサポートされるようになりました。
- 新しい質問タイプ ([メモ]) は、入力のないラベルを提供します。Survey123 Connect を使用して作成された note フィールドと同じ方法で動作します。
- [データ] ページが、カスタム印刷をサポートするようになり、ユーザーが入力したテンプレートを使用して個々の調査の回答を印刷できるようになりました。

注意:

この機能は現在ベータ版であり、将来変更される可能性があります。

- ジオポイントの hide-input 表示設定のサポートが追加されました。この表示設定タイプは、Survey123 Connect によってのみ実装できます。
- さまざまなバグ修正が行われました。

2017 年 6 月 30 日の更新

Survey123 Connect (ビルド 2.2.14)

下記は、修正、追加された機能です。

- 日付計算で、十進化時間形式のサポートが追加されました。

注意:

既存のエポック タイム形式は、引き続きサポートされます。

Survey123 フィールド アプリ (2.2.15)

下記は、修正、追加された機能です。

- Autocomplete の質問がカスケード選択の質問を操作できなくなるという再発した不具合が修正されました。
- サインイン済みのユーザーがアクセスできなくなっているフィーチャ サービスにデータを送信しようとしたときに、アプリがハングアップしなくなります。
- 一部の Android デバイスで撮影された写真の品質が向上しました。
- 最近の iOS のセキュリティ更新に対応し、以下が修正されました。
 - Google 認証を使用したサインイン
 - Trek2There、Navigator、Collector などの他の Esri アプリへのリンク

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- SAML を介したサインインを妨げるバグが修正されました。

2017 年 6 月 1 日の更新

Survey123 Connect (ビルド 2.1.9)

下記は、修正、追加された機能です。

- フェデレートされたフィーチャ サービスから調査を作成できるようになりました。
- Repeat 内の各質問を集約関数で使用できるようになりました。
- repeat 内の autocomplete 質問で、新しい repeat を開くと autocomplete のフィルターが消えるようになりました。
- 受信トレイのクエリ定義に、username、email、firstName、lastName といった変数を追加できるようになりました。たとえば、Creator=\${username} は現在サインインしているユーザーが作成したすべてのレコードを返します。
- デフォルト値のある質問を非表示にできるようになりました。
- 日本語、中国語、ロシア語、ヘブライ語、韓国語、およびスウェーデン語の Ubuntu のフォント問題が解決されました。

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 2.1.6)

下記は、修正、追加された機能です。

- 繰り返し内の各質問を集約関数で使用できるようになりました。
- repeat 内の autocomplete 質問で、新しい repeat を開くと autocomplete のフィルターが消えるようになりました。
- URL スキームでパラメーターを使用して、非表示のフィールドを設定できます (日付については、ISO およびエポック タイム形式を使用する必要があります)。
- カレンダーの週番号の表示が改善されました。
- iOS の最下位バージョンが 9 に変更されました。

- Android x86 ハードウェアのサポートが改善されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 調査の結果を、調査の [解析] ページに表示されるリンクを使用して共有できるようになりました。
- 定義した日付の範囲のみのフィーチャ サービスのデータをダウンロードできるようになりました。
- 個々の回答を印刷する前に、画像のサイズを変更できるようになりました。
- 既存のフィーチャ サービスから作成された調査がサポートされるようになりました。
- 一般的なパフォーマンスの改善とさまざまなバグの修正。

2017 年 5 月 4 日の更新

下記は、バグ修正された機能です。

Survey123 Connect (ビルド 2.0.41) および Survey123 フィールド アプリ (ビルド 2.0.56)

- ロシア語とベトナム語の UI から予期しないテキストを削除しました。
- 全体表示にズームしている状態で位置ページに座標値を入力すると (たとえば、アクティブな位置センサーがない場合など)、確認チェック マークがアクティブになるため、編集作業を省略することができます。
- BUG-000103550 - 位置ページに座標を手入力する際に、小数点を表すカンマを使用できるようにしたい。小数点のカンマは、オランダ語やスペイン語などのロケールではデフォルトになっています。

2017 年 4 月 26 日の更新

オンライン ドキュメントがアラビア語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、簡体字中国語、およびスペイン語で提供されるようになりました。

Survey123 Connect (ビルド 2.0.35)

下記は、修正、追加された機能です。

- 調査で [受信トレイ] を有効にできるようになりました。Survey123 フィールド アプリは既存の調査をダウンロードし、編集することができます。
- IWA 認証がサポートされるようになりました。
- 新しい表示設定タイプ **compact** を group と repeat の質問で使用できるようになりました。この表示設定は、初期状態では、展開された状態ではなく、折りたたまれた状態で group や repeat の質問を表示します。
- autocomplete の表示設定に、既存のテキストを消去するボタンが付けられました。
- ヒンズー語、ボスニア語、インドネシア語のサポートが追加されました。
- さまざまなバグ修正が行われました。

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 2.0.53)

下記は、修正、追加された機能です。

- [送信済み] ページから、送信済みの調査の回答を編集できるようになりました。

- **[受信トレイ]** ページを使用し、送信済みの調査 (他のデバイスにある調査も含む) をダウンロードし、編集することができます。受信トレイは、調査単位で有効になります。
- IWA 認証がサポートされるようになりました。
- group と repeat の質問を折りたためるようになりました。
- **[ダウンロード]** ページに、検索バーと、名前または作成日で並べ替える機能が追加されました。
- サインインしたユーザーと同じ組織に属する一般公開された調査は、**[ダウンロード]** ページに表示されるようになりました。
- ヒンズー語、ボスニア語、インドネシア語のサポートが追加されました。
- さまざまなバグ修正が行われました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- Web デザイナーで公開済みの調査を編集できるようになりました。
- 新しい質問タイプ **[Rating]** を調査に追加できるようになりました。
- アラビア語、ヘブライ語、ヒンズー語のサポートが追加されました。
- さまざまなバグ修正が行われました。

2017 年 2 月 28 日の更新

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- Web サイトで 32 の言語がサポートされるようになりました。完全なリストについては、[システム要件](#)のページをご参照ください。
- 調査の共有オプションが改善されました。作成する調査のリンクを、Web ブラウザーで起動するリンク、フィールド アプリで起動するリンク、Web ブラウザーまたはフィールド アプリをユーザーが選択できるリンクの中から選択できます。
- 1.11 以降で作成された調査では、匿名ユーザーは他のユーザーの調査データを検索できなくなりました。
- 調査を持たないユーザーや新しい調査を作成しているユーザーに対して操作方法を説明する情報が改善されました。
- BUG-000102897 - 複数の選択肢の質問で **[その他]** の選択肢に複数の単語を使用している場合、Web サイトから調査を公開できません。これは、既存の調査から作成された調査でのみ発生します。
- BUG-000102668 - Survey123 Web サイトにサインインした後に ArcGIS Online を参照すると、HTTP ERROR 400 ページが表示されます。

Survey123 Web アプリ

- Web アプリに表示されるジオポイントの質問が改善され、幅広いモバイル デバイスでの操作性が向上しました。

Survey123 フィールド アプリおよび Survey123 Connect

1.11 リリースでは、Survey123 フィールド アプリと Survey123 Connect に対する更新はありません。

これらのアプリについて、次のリリースを試したい場合は、<https://earlyadopter.esri.com> で 2.0 ベータ プログラムにご参加ください。2.0 リリースでは、既存の調査を編集する機能が導入されます。

2017 年 1 月 12 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.10.25)

以下のバグ修正が行われました。

- BUG-000101764 - Portal for ArcGIS への送信中に [サービス情報を取得しています] のアクションで調査が停止したままになります。
- BUG-000102016 - Survey123 1.9 以前で作成された調査を送信すると、エラー 202 が発生します。

2016 年 12 月 21 日の更新

Survey123 Connect (ビルド 1.10.43)

下記は、修正、追加された機能です。

- 既存のフィーチャ サービスを基に調査を作成できるようになりました。詳細については、「[ArcGIS Server での Survey123 の使用](#)」をご参照ください。
- バージョン関数のサポートが追加されました。version() 関数を使用すると、[settings] シートで定義した調査のバージョンを表示できます。
- Survey123 Connect では、自身が所有する一般公開した調査が表示されます。
- [settings] シートの [form_id] フィールドでは、フィーチャ サービスのターゲット テーブルまたはレイヤーを定義します。空の場合、または以前のバージョンのデフォルト名を使用している場合は、フィーチャ サービスの 1 番目のレイヤーにデフォルト設定されます。
- テキストの文字化けの問題を防ぐために、フォントが変更されました。
- Web 上で調査を起動するメニューが拡張されました。
- フィーチャ サービスに格納されている画像が、それが送信された質問の名前を参照するようになりました。

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.10.23)

下記は、修正、追加された機能です。

- 整数の質問の NaN 処理が改善されました。
- グループ内での関連する条件式の質問を、必須フィールドとして使用できるようになりました。
- 調査を完了して [この調査を続行] を選択しても、調査が重複して送信されなくなりました。
- 日付の質問の表示が改善されました。
- テキストの文字化けの問題を防ぐために、フォントが変更されました。
- 翻訳が改善されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 調査結果を他のユーザーと共有できるようになりました。調査の作成者が、**[共同作業]** ページで調査結果を表示できるユーザーを選択できるようになりました。選択された関係者は各自の **[調査]** ページで調査の結果を表示できます。
- 新しい質問のタイプである **website** は、Web サイトの URL のみを受け入れます。
- 質問に対する回答を、次のレコード用にブラウザーの Cookie にキャッシュできるようになりました。
- ジオポイントの質問が、ジオコーディング サービスに基づく住所の検索をサポートするようになりました。
- アクセシビリティのためにコントラストが向上しました。

2016 年 11 月 7 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.9.24)

下記は、修正、追加された機能です。

- 繰り返しの質問の計算内容とデフォルト値の問題が改善されました。
- **エンタープライズ ログイン** のサポート。
- 日時の質問の動作が改善されました。
- Leica Zeno 20 や Cedar Tree CT4 および CT7 を含む、広範囲の Android 4.1 デバイスがサポートされるようになりました。
- Survey123 が **Amazon マーケットプレイス** で入手できるようになりました。
- 言語名のロケールコードを使用して作成された場合の、言語のサポートが改善されました。
- 翻訳が改善されました。

Survey123 Connect (ビルド 1.9.24)

下記は、修正、追加された機能です。

- **integer** と **decimal** の質問に、2 つの新しい表示オプションが追加されました。numbers はカスタム キーボードを表示し、spinner は現在の値を増減させる + ボタンと - ボタンを表示します。

注意:

これらの表示設定オプションは、同じ質問に対して同時に使用できます。

- **エンタープライズ ログイン** のサポート。
- **空の値**、**計算**、**デフォルト** の処理が改善されました。
- `property()` 関数を使用してデバイス情報をフォームに含める機能をサポート。
- **settings** フォーム シートの **default_language** 列で、調査のデフォルト言語がロケールコードによって決定されるようになりました。
- 翻訳が改善されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- **[共同作業]** ページで調査を公開し、誰とでも調査を共有できるようになりました。
- 新しい質問のタイプである **email** はメールアドレスのみ許可します。
- **[データ]** および **[解析]** ページに日付範囲のフィルターが含まれるようになりました。
- **[共同作業]** ページでのリンクの共有方法が改善されました。
- 各種バグ修正。

2016 年 9 月 28 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.8.21)

下記は、修正、追加された機能です。

- 繰り返しの質問で必須の値を受け取るようになりました。
- 繰り返しの質問内のメモが計算後に更新されるようになりました。
- 英語以外の言語のテキストの表示を修正する場合に、斜体を使用されなくなりました。
- カスタム URL スキーマで起動された調査は、調査フォームが自動的にダウンロードされるようになりました。

Survey123 Connect (ビルド 1.8.27)

下記は、修正、追加された機能です。

- テキスト、整数、小数の質問タイプに基づく計算の質問は、それぞれのエレメントのフィールドタイプを反映します。

注意:

混合タイプの質問で計算を実行する場合 (たとえば、整数の質問の回答をテキストの質問の回答に追加する場合など) には、必ずタイプを正規化する関数を使用します。詳細については、「[計算](#)」をご参照ください。

- 文字列と数値の質問の空の値が、計算や制限に対して特定の意味を持つようになりました。詳細については、「[式](#)」をご参照ください。
- ジオポイント値のコンテンツを表示するには、計算でジオポイントの質問を参照するときに、文字列関数を使用する必要があります。たとえば、`string(${myPoint})` などです。
- `pulldata()` 関数が、ジオポイントの質問のカスタムパラメーターをサポートするようになりました。これを使用して、場所のメタデータを調査に追加します。
- 英語以外の言語のテキストの表示を修正する場合に、斜体を使用されなくなりました。独自の調査内では引き続き斜体を使用できますが、自分の調査ユーザーが Android 上で英語以外の言語を使用している場合は、警告を表示します。詳細については、「[既知の問題](#)」をご参照ください。

2016 年 8 月 31 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.7.20)

下記は、修正、追加された機能です。

- 写真で EXIF メタデータが取得されるようになりました。
- **[調査が完了しました]** ダイアログ ボックスに、調査の入力を続行するオプションが追加されました。
- **[調査のダウンロード]** ページで画面を下にスライドさせて、調査のリストを更新できるようになりました。
- 2 つの画像の質問を含む調査で、2 つ目を回転しても 1 つ目は回転しなくなりました。
- iOS での関連する条件式の動作が改善されました。
- 調査の最後のテキストの質問が、他の質問と異なるフォントにならなくなりました。
- オートコンプリートで、最初の文字だけでなく、文字列のどの場所からでも検索されるようになりました。
- キーボードが表示されたときの、タブレットおよびスマートフォン デバイスのスクロール機能が改善されました。
- 翻訳が改善されました。

Survey123 Connect (ビルド 1.7.35)

下記は、修正、追加された機能です。

- チュートリアル ビデオの新しいギャラリーが追加されました。
- **[新しい調査の作成]** ダイアログ ボックスで、メディアの添付ファイルを含むフォームがサポートされるようになりました。
- Survey123 Web サイトで作成した調査を Survey123 Connect で編集できるようになりました。ある PC で作成した調査以外に ArcGIS に公開した調査もダウンロードできるようになりました。これは、複数のデスクトップで作業する場合に便利です。1 つのデスクトップで調査を作成し、別のデスクトップにそれをダウンロードして作業を続行します。
- 多様な種類の計算関数がサポートされるようになりました。完全なリストについては、「[式](#)」をご参照ください。
- XLSForm 関数 `pulldata()` がサポートされるようになり、提供される CSV ファイルから調査用のデータを抽出できるようになりました。
- **[instance_name]** フィールドに不正なテキストが入力された場合の動作が改善され、誤って調査が送信される可能性が低くなりました。
- 翻訳が改善されました。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- Survey123 Web サイトで作成した調査を Survey123 Connect で編集できるようになりました。
- 調査の作成時に、新しい質問タイプ **Image** を使用できるようになりました。
- **[解析]** ページに結果を印刷するオプションが追加されました。
- **[データ]** ページに新しく **[個々の回答]** ビューが追加されました。
- **[単一の選択肢]**、**[ドロップダウン]**、**[複数の選択肢]** の質問に **[バッチ編集]** オプションが追加されました。これにより、質問のリストを他のファイルからコピーして貼り付けたり、多数のリスト アイテムを一度に削除したりできます。

2016 年 7 月 25 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.6.11)

下記は、修正、追加された機能です。

- 特に ArcGIS Pro で作成されたものについて、TPK のサポートが改善されました。
- [マップのダウンロード] 画面で、TPK の地図投影に Web メルカトルというラベルが付いていない場合に警告が表示されるようになりました。
- ArcGIS Workforce との連携が可能になりました。
- オフライン ベースマップでジオポイントの質問にズームすることで、ベースマップの既存のレベルのみにズームできます。
- 写真のファイル名に使用される日付が現在の日付になりました (これまでのリリースでは、日付が正しくありませんでした)。
- Windows Phone で [サインイン] ボタンが使用できるようになりました。
- Android N でサインインが可能になりました。

Survey123 Connect (ビルド 1.6.11)

下記は、修正、追加された機能です。

- 公開の前に TPK を調査のメディア フォルダーに配置することで、調査とともに TPK をアップロードできるようになりました。
- ArcGIS Workforce との連携が可能になりました。
- 繰り返しにジオポイントがある調査を Windows で公開できるようになりました。
- 正規表現の処理が改善されました。
- 質問名でハイフンがサポートされるようになりました。
- CSV ファイルでの Unicode のサポートが改善されました。

2016 年 6 月 23 日の更新

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 調査データのレポート機能が改善されました。
- テーブル ビューでのデータのエクスポートが強化され、レコードとの対話機能が向上しました。
- Web ブラウザーで調査を作成および使用します。

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.5.32)

Survey123 フィールド アプリへの修正と追加には次のものがあります。

- 新しい調査のダウンロード後に、不正な調査が開かなくなりました。
- [診断] タブが設定に追加され、コンソールのログ機能が可能になりました。
- 繁体字中国語 (香港)、繁体字中国語 (台湾)、クロアチア語、セルビア語のサポートが追加されました。

- UI/UX が再設計されました。

Survey123 Connect (1.5.35)

下記は、修正、追加された機能です。

- 新しい調査の作成時に、パブリックに共有された調査や、ユーザー自身またはユーザーの組織によって公開された調査から調査を作成するオプションが追加されました。
- [診断] タブが設定に追加され、コンソールのログ機能が可能になりました。
- 調査のサムネイルのメニューに、調査の複製および削除のオプションが追加されました。
- select_one の質問にオートコンプリートの表示設定オプションが追加されました。このオプションは、オプションを絞り込むためのテキスト フィールドがドロップダウン リストに表示されるものです。
- 繰り返しの質問に最小限の表示設定オプションが追加されました。繰り返しの質問が最小限の場合はデフォルトでは閉じられており、選択時のみ開きます。
- 繁体字中国語 (香港)、繁体字中国語 (台湾)、クロアチア語、セルビア語のサポートが追加されました。
- UI/UX が再設計されました。

2016 年 5 月 16 日の更新

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- 回答数の多い調査の表示が高速化されました。
- 調査の回答のチャートおよびマップ機能が強化されました。
- UI/UX が再設計されました。

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.4.28)

下記は、修正、追加された機能です。

- サインインと認証が改善され、すべてのプラットフォームで Okta がサポートされるようになりました。
- ジオポイントの質問で平均化が有効になりました。
- 写真の名前変更、回転、削除が可能になりました。写真のキャプチャ、参照、選択機能が改善されました。

注意:

このリリースでは Windows Phone は更新されません。

Survey123 Connect (ビルド 1.4.30)

下記は、修正、追加された機能です。

- 既存のフィーチャ サービスとデータを削除せずに、調査を再公開する機能。
- 新しい調査を既存のフィーチャ サービスと関連付ける機能。
- 繰り返しの質問内で制限、計算、必須フィールドを含むことができるようになりました。
- バー コードの質問に最小限の表示設定オプションが追加され、表示をシンプルにできるようになりました。

2016 年 4 月 2 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.3.38)

下記は、修正、追加された機能です。

- 入力マスクの使用時に発生するエラーが減少しました。
- テキストおよび入力コントロールのサイズをユーザー側で調整できるようになりました。
- select_one の質問で長いリストから値を選択するときに、期待どおりに表示されるようになりました。
- 質問のグループの関連する状態を変更する select_one の質問が期待どおりに表示されるようになりました。
- 一連の繰り返しの質問で次のレコードに処理を進めるときに、以前のデータが表示されません。
- 制限と計算が日付フィールドで機能するようになりました。
- 整数のフィールドでカンマが受け入れられなくなりました。
- 前面および背面カメラの切り替え機能が追加されました。
- バーコードスキャンの成功率が向上しました。
- 低品質であった、デバイス上の繰り返しナビゲーションコントロールの表示が改善されました。
- Android の戻るボタンでアプリが閉じなくなりました。

Survey123 Connect (ビルド 1.3.17)

下記は、修正、追加された機能です。

- 新しい [bind:esri::fieldAlias] 列では、フィールドのエイリアスが格納された値に置き換わり、デフォルトとしてラベル値が継承されるのではなく、格納された値が継承されます。
- ラベル値を継承する場合、エイリアス フィールドで HTML タグが繰り返されなくなりました。
- 追加のサンプルとテンプレートが含まれています。
- サイズの閾値が追加され、保存画像をユーザーが制御できるようになりました。

2016 年 3 月 5 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.2.89)

下記は、修正、追加された機能です。

- パフォーマンス - 選択の質問の非常に長いリストの読み込み速度が向上しました (特に、最小限の表示設定を使用した場合)。
- 日付、時間、日時の質問 - 日付選択のためのウィジェットが改善されました。
- likert と distress の表示設定 - select_one タイプの質問で Likert 表示設定を使用して好き嫌いの尺度を表示するか、整数タイプの質問で distress 表示設定を使用して緑色から赤色までのカラー スケールを表示します。
- 整数と小数のタイプの質問 - 調査の作成者によって必須フラグが設定されていない場合に、これらの質問タイプが必須になってしまうバグを修正。
- 繰り返しの質問の親レコードの ID - 繰り返しの質問で親レコードの ID を省略されてしまうバグを修正。親レコードの ID が期待どおりに取得されるようになりました。

- バーコードと入力マスクの導入 - これらはまだ開発途中なので、慎重に使用してください。

Survey123 Connect (ビルド 1.2.62)

アプリでのパフォーマンス向上が、Survey123 Connect で調査をプレビューするときにも実感できます。調査の下部にカウンターが表示され、調査の読み込みにかかった時間も確認できるようになりました。

Survey123 Web サイト

調査結果が <http://survey123.arcgis.com> でマップおよびテーブルビューに表示されるようになりました。[サマリー] タブに、質問に対する回答を集計したチャートが表示されるようになりました。

2016 年 2 月 9 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.2.49)

下記は、修正、追加された機能です。

- パフォーマンス - 調査の読み込み速度が大幅に向上しました。
- ジオポイントの質問 - iOS でのマップ プレビューが表示されるようになりました。

Survey123 Connect (ビルド 1.2.18)

下記は、修正、追加された機能です。

- パフォーマンス - アプリでのパフォーマンス向上が、Survey123 Connect で調査をプレビューするときにも実感できます。
- 調査のアップグレード - <http://survey123.esri.com/> で共有およびダウンロードできるようにするには、既存の調査をアップグレードする必要があります。アップグレードの必要がある調査には警告シンボルが表示され、ワンクリックでアップグレードできます。

Survey123 Web サイト

下記は、修正、追加された機能です。

- <http://survey123.esri.com/> で、調査を他の ArcGIS ユーザーと共有できます。
- 調査データは <http://survey123.esri.com/> からダウンロードできます。

2016 年 1 月 6 日の更新

Survey123 フィールド アプリ (ビルド 1.2.19)

新機能には、次のものがあります。

- [サインインのダイアログボックスでのコピーと貼り付けの有効化](#)
- [オフラインベースマップのサポート](#)
- [オフラインベースマップのサポート](#)

2015 年 9 月 8 日の更新

Survey123 Connect (ビルド 1.1.4)

- 下記は、修正、追加された機能です。
 - [関連する条件式が機能するようになりました。](#)
 - [必要なシグネチャ画像が認識されます \(ホットフィックス\)。](#)
- 新機能には、次のものがあります。
 - [カスケード式の選択と繰り返しの質問が初めて実装されました。](#)
 - [カスケード式の選択と繰り返しの質問をアプリでテストするには、HockeyApp からベータ版をインストールする必要があります \(ベータ プログラムへの参加リクエストを \[survey123@esri.com\]\(mailto:survey123@esri.com\) に送信してください\)。](#)
 - [カスケード式の選択と繰り返しの質問のサポートは、10月の更新で予定されています。](#)

2015 年 8 月 31 日の更新

Survey123 Connect (ビルド 1.0.158)

下記は、修正、追加された機能です。

- [Windows 10 での Survey123 Connect の実行](#)
- [プロキシサーバーを介して Survey123 Connect を使用するとき \[XLSForm の変換に失敗しました\] というエラーが発生する問題を解決](#)
- [名前に特殊文字を使用する調査の作成](#)

Survey123 フィールド アプリ

このマイルストーンで計画された新機能はすべて、次回に計画される更新 (2015 年 10 月 1 日) に先送りされました。ここには、カスケード式の選択や Windows Phone 8 および 8.1 のサポートが含まれます。XLSForm の繰り返しのサポートも、引き続き 10 月 1 日の更新で予定されています。

既知の問題は、関連する条件式が Survey123 Connect のフォーム プレビューで確認できないことです。ただし、Survey 123 アプリでは関連する条件式が期待どおりに確認できます。注意: この問題はバージョン 1.1.4 で修正されました (2015 年 9 月 8 日の更新をご参照ください)。